



SII SDK for Windows
アプリケーションプログラマーズガイド

Rev.03

[対象製品]
DSP-A01シリーズ

セイコーインスツル株式会社

Rev.01	2019年	7月
Rev.02	2020年	1月
Rev.03	2024年	11月

©セイコーインスツル株式会社 2019-2024

無断転載を禁じます。

Microsoft®及びWindows®は米国Microsoft Corporationの米国、日本及びその他の国における登録商標です。

Bluetooth はBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

本書の内容は、断りなく変更することがあります。

本書及び本書に記載された製品の利用によって発生した
損害及びその回復に要する費用に対し、当社は一切の責任を負いかねます。

本書を第三者に無断で頒布することを禁じます。

はじめに

本書は、セイコーインスツル株式会社（以降：SII）が提供する「SII SDK for Windows」（以降：SDK）のディスプレイ機能について説明します。
SDKは「対象製品」に記載のドライバー上で動作します。

対象製品

本書の対象製品について以下に記載します。

製品	インターフェイス	本書での記載
DSP-A01	USB	ディスプレイ

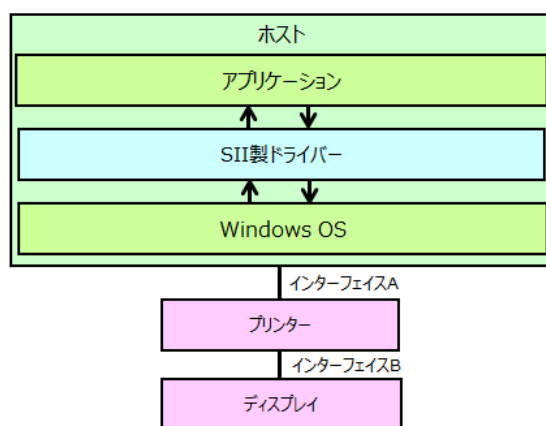
対応ドライバー

ディスプレイの利用にあたり、SII製ドライバーが必要です。
対応するSII製ドライバーについて以下に記載します。
ディスプレイの接続方法は2種類あります。

1) ディスプレイを SII 製プリンターに接続して使用する場合（以降、“プリンター経由で使用”と記載）

SII 製ドライバー	インターフェイス A	プリンター	インターフェイス B
SII Printer Driver for Windows	USB Bluetooth TCP/IP	RP-F10シリーズ	USB*1

*1: USB の規格:フルスピード



構成イメージ

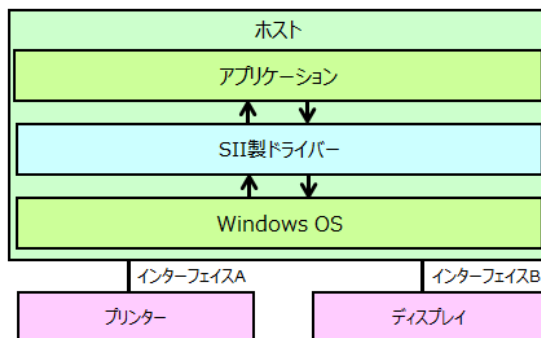
2) ディスプレイを単体で使用する場合（以降、“ディスプレイ単体で使用”と記載）

SII 製ドライバー	インターフェイス A	プリンター*1	インターフェイス B
SII Printer Driver for Windows	–	–	USB*2

*1: ディスプレイをサポートする SII 製プリンターは以下の通りです。

・RP-F10 シリーズ

*2: USB の規格:フルスピード



構成イメージ

本書の表記

本書の表記について説明します。

用語一覧

本書で使用する用語について以下の通りに定義します。

プリンター

用語	内容
プリンター用技術説明書	下記の技術説明書。 ・RP-F10シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書
プリンターコマンド	「プリンター用技術説明書」に記載されている、プリンターを制御するための命令。
ASB設定コマンド (ASB: Automatic Status Back)	プリンターコマンド「自動ステータス送信の有効・無効」。 プリンターコマンドの詳細は、「プリンター用技術説明書」の「コマンドの機能」を参照してください。

ディスプレイ

用語	内容
ディスプレイ用技術説明書	下記の技術説明書。 ・DSP-A01シリーズ カスタマーディスプレイ 技術説明書
ディスプレイコマンド	「ディスプレイ用技術説明書」に記載されている、ディスプレイを制御するための命令。
スライド	画面サイズ(横480px×縦272px)のイメージデータ。 スタンバイ画面としてディスプレイへの表示、及び背景画面としてテンプレートと重ね合わせてディスプレイに表示する。
テンプレート	描画領域や配置位置などの属性を設定できる要素を持つ定型フォーム。 要素にはtext要素(テキストデータ)、img要素(イメージデータ)、barcode要素(バーコードデータ)、及びqr要素(QRコードデータ)がある。 テンプレートを登録する場合、配置する要素にそれぞれマップIDを定義する。 登録済みのイメージデータやテキストデータ等は、テンプレートを選択し、そのマップIDを指定し、画面更新することでディスプレイに表示ができる。 テンプレートのデータはXMLファイル形式で指定する必要がある。 登録できるテンプレートの最大サイズは横480px×縦272px。
マップID	テンプレートを登録する際に位置や修飾情報等を保持した要素に定義するID。
マクロ	複数のAPIを実行する順に登録し、イベントが発生した際に自動的に実行される機能。
コンテンツ	スライドデータ、イメージデータ、テンプレート、マクロなど、ディスプレイのメモリ領域に登録できるデータ。マクロを除き、ID情報、及びデータ名の取得ができる。
イベント	ディスプレイコマンド「イベント通知」によって定義されるイベント。

1章	概要	1-1
1.1	動作条件	1-1
1.2	工場出荷時の登録データ	1-1
2章	インストール	2-1
3章	Win32 API	3-1
3.1	開発対象言語	3-1
3.2	ライブラリファイル	3-1
3.3	API一覧	3-2
3.3.1	共通API	3-2
3.3.2	専用API	3-2
3.4	API詳細	3-4
3.4.1	共通API	3-4
	OpenMonPrinter	3-4
	CloseMonPrinter	3-5
	LockPrinter	3-5
	UnlockPrinter	3-6
	DirectIO	3-7
	DirectIOEx	3-8
3.4.2	専用API	3-10
	画面の表示	3-10
	DispShowTemplate	3-10
	DispShowSlide	3-11
	DispTurnOnScreen	3-12
	DispEnterStandbyMode	3-13
	DispExecuteMacro	3-13
	テンプレート	3-15
	DispRegisterTemplate	3-15
	DispUnregisterTemplate	3-16
	DispSelectTemplate	3-17
	DispSetTemplateImageData	3-18
	DispSelectTemplateTextObject	3-19
	DispSetTemplateTextAlignment	3-20
	DispSetTemplateTextLeftMargin	3-21
	DispSetTemplateTextBold	3-22
	DispSetTemplateTextUnderline	3-23
	DispSetTemplateTextSize	3-24
	DispSetTemplateTextFont	3-25
	DispSetTemplateTextRegisteredFont	3-26
	DispSetCodePage	3-27
	DispSetInternationalCharacter	3-28
	DispSetTemplateTextRightSpacing	3-29
	DispSetTemplateTextColor	3-30
	DispSetTemplateTextLineSpacing	3-31
	DispSetTemplateTextData	3-32

DispSetTemplateBarcodeData	3-33
DispSetTemplateQrCodeData	3-34
画像登録	3-36
DispRegisterImageData	3-36
DispUnregisterImageData	3-37
DispRegisterSlideData	3-38
DispUnregisterSlideData	3-39
文字登録	3-40
DispRegisterUserDefinedCharacter	3-40
DispUnregisterUserDefinedCharacter	3-41
DispRegisterOptionFont	3-41
DispUnregisterOptionFont	3-43
マクロ	3-44
DispControlMacroRegistration	3-44
メモリ操作	3-46
DispDefragment	3-46
DispGetMemory	3-47
DispInitializeMemoryArea	3-47
応答機能	3-49
DispGetRegisteredStateList	3-49
DispGetObjectLabel	3-50
DispGetResponseRequest	3-51

4章 .NET API	4-1
4.1 開発対象言語	4-1
4.2 ライブラリファイル	4-1
4.3 API一覧	4-2
4.3.1 共通API	4-2
4.3.2 専用API	4-2
4.4 API詳細	4-4
4.4.1 共通API	4-4
プロパティ	4-4
LastError	4-4
IsValid	4-4
メソッド	4-5
OpenMonPrinter	4-5
CloseMonPrinter	4-6
LockPrinter	4-6
UnlockPrinter	4-7
DirectIOEx	4-7
4.4.2 専用API	4-9
画面の表示	4-9
ShowTemplate	4-9
ShowSlide	4-10
TurnOnScreen	4-11
EnterStandbyMode	4-11
ExecuteMacro	4-12
テンプレート	4-13
RegisterTemplate	4-13
UnregisterTemplate	4-14

SelectTemplate	4-14
SetTemplateImageData	4-15
SelectTemplateTextObject	4-16
SetTemplateTextAlignment	4-16
SetTemplateTextLeftMargin	4-17
SetTemplateTextBold	4-18
SetTemplateTextUnderline	4-18
SetTemplateTextSize	4-19
SetTemplateTextFont	4-20
SetTemplateTextRegisteredFont	4-20
SetCodePage	4-21
SetInternationalCharacter	4-22
SetTemplateTextRightSpacing	4-22
SetTemplateTextColor	4-23
SetTemplateTextLineSpacing	4-24
SetTemplateTextData	4-24
SetTemplateBarcodeData	4-25
SetTemplateQrCodeData	4-26
画像登録	4-28
RegisterImageData	4-28
UnregisterImageData	4-29
RegisterSlideData	4-30
UnregisterSlideData	4-31
文字登録	4-32
RegisterUserDefinedCharacter	4-32
UnregisterUserDefinedCharacter	4-33
RegisterOptionFont	4-33
UnregisterOptionFont	4-34
マクロ	4-35
ControlMacroRegistration	4-35
メモリ操作	4-37
Defragment	4-37
GetMemory	4-38
InitializeMemoryArea	4-38
応答機能	4-40
GetRegisteredStateList	4-40
GetObjectLabel	4-41
GetResponseRequest	4-41

5章 エラーコード一覧 5-1

5.1 エラーコード一覧	5-1
--------------------	-----

6章 引数情報 6-1

6.1 コンテンツタイプ	6-1
6.2 位置揃え	6-1
6.3 文字サイズ	6-2
6.4 文字フォント	6-2
6.5 登録フォント	6-2
6.6 コードページ	6-2

6.7	国際文字セット	6-3
6.8	文字色	6-4
6.9	モジュールサイズ	6-4
6.10	エラー訂正レベル	6-5
6.11	データモード	6-5
6.12	マクロ処理選択	6-5
6.13	メモリ領域	6-5

1章 概要

本章ではSDKの概要について説明します。

SDKには、開発者向けに提供されるディスプレイを直接制御するためのライブラリファイルが含まれます。また、ドライバーに付属し、ドライバーを利用して動作します。

SDKの利用により、アプリケーション開発においてディスプレイを制御し、ポートの種類に依存しない設計ができます。

SDKは下記のライブラリファイルを内包しています。

- Win32開発環境用SDK(以降:Win32 API)
- .NET開発環境用SDK(以降:.NET API)

SDKの利用例として、各開発対象言語別のサンプルプログラムを提供していますので参照してください。

1.1 動作条件

SDKの動作条件は、ドライバーの動作環境、ディスプレイの設定及び制限事項に準じます。ドライバーの動作環境などの詳細は、「対応ドライバー」に記載のプリンターまたはディスプレイ用「SII Printer Driver for Windows 取扱説明書」を参照してください。

その他に、下記の動作条件を満たす必要があります。

- .NET APIを利用する場合は、.NET Framework 2.0以降が必要です。コンピューターから.NET Frameworkをアンインストールすると.NET APIを利用できなくなります。
- SDKのすべての機能は双方向サポートの機能が有効(ディスプレイ用ドライバーを除く)、及びプリンタスプールの機能が無効である必要があります。

1.2 工場出荷時の登録データ

工場出荷時に登録されるデータは、品質向上のため予告無く追加・変更される場合があります。また、指定する言語設定、及び文字コードによっては適切なエンコードが指定されているテンプレートを利用する必要があります。工場出荷時に登録されるデータの詳細については、弊社Webサイトを参照してください。

<https://www.sii-ps.com/dspa01/>

2章 インストール

インストールについては、「SII ソフトウェアパッケージ for Windows インストールガイド」を参照してください。

3章 Win32 API

本章ではWin32 APIについて説明します。

3.1 開発対象言語

開発対象言語は下記の通りです。

- Visual C++

3.2 ライブラリファイル

Win32 APIのライブラリファイルはダイナミックリンクライブラリ形式です。

ライブラリファイルのファイル名は下記の通りです。

- SPSWL_API.dll

ライブラリファイルの保管場所は、Windowsのシステムフォルダーです。

特殊な場合を除き、ライブラリファイルが保存されているフォルダーへパスを通す必要はありません。フォルダーから移動せずにそのまま使用してください。

ライブラリファイルを移動するとドライバーのバージョンアップの際にライブラリファイルが正しく更新されません。

3.3 API一覧

Win32 APIに実装されているAPIは下記の通りです。

3.3.1 共通 API

API	機能概略
OpenMonPrinterA ^{※1} OpenMonPrinterW ^{※1}	Win32 APIの使用を開始し、APIハンドルを返します。
CloseMonPrinter	使用中のWin32 APIを終了します。
LockPrinter	他のプロセスからのデバイスへのデータ送信及びハードウェアリセット要求を全て禁止(ロック)します。
UnlockPrinter	LockPrinterによる他プロセスからのアクセス禁止(ロック)を解除します。
DirectIO	バイナリデータを送信及び受信します。 (受信データにはASB設定コマンドの応答は含まれません。)
DirectIOEx	バイナリデータを送信及び受信します。

※1: 文字列の引数はMBCS(マルチバイトコード)、またはUNICODE(ユニコード)で指定します。MBCS(マルチバイトコード)を使用する場合は末尾に' A'、UNICODE(ユニコード)を使用する場合は末尾に' W' のついたAPIを呼び出してください。以降の説明ではAPI末尾の' A'、または' W' を省略して説明します。

3.3.2 専用 API

API	機能概略
DispShowTemplate	画面をテンプレート表示にします。
DispShowSlide	画面をスライド表示にします。
DispTurnOnScreen	画面のバックライトのオン・オフを設定します。
DispEnterStandbyMode	ディスプレイをスタンバイモードにします。
DispExecuteMacro	登録済みのマクロを実行します。
DispRegisterTemplateA ^{※1} DispRegisterTemplateW ^{※1}	テンプレートを登録します。
DispUnregisterTemplate	登録済みのテンプレートを削除します。
DispSelectTemplate	テンプレートを選択します。
DispSetTemplateImageData	選択中のテンプレートに表示するイメージデータを設定します。
DispSelectTemplateTextObject	編集を開始するtext要素を選択します。
DispSelectTemplateでテンプレートを選択し、DispSelectTemplateTextObjectで指定したtext要素に有効なAPI	
DispSetTemplateTextAlignment	テキストデータに位置揃えを設定します。
DispSetTemplateTextLeftMargin	テキストデータに左マージンを設定します。
DispSetTemplateTextBold	テキストデータに強調文字を設定します。
DispSetTemplateTextUnderline	テキストデータにアンダーラインを設定します。
DispSetTemplateTextSize	テキストデータに文字サイズを設定します。

API	機能概略
DispSetTemplateTextFont	テキストデータに文字フォントを設定します。
DispSetTemplateTextRegisteredFont	テキストデータで使用する登録フォントを設定します。
DispSetCodePage	テキストデータで使用するコードページを設定します。
DispSetInternationalCharacter	テキストデータで使用する国際文字セットを設定します。
DispSetTemplateTextRightSpacing	テキストデータに右スペース量を設定します。
DispSetTemplateTextColor	テキストデータで使用する文字色を設定します。
DispSetTemplateTextLineSpacing	テキストデータに改行量を設定します。
DispSetTemplateTextDataA ※1 DispSetTemplateTextDataW ※1 DispSetTemplateTextBDData ※2	DispSelectTemplateTextObject で指定したtext要素に表示するテキストデータを入力します。
DispSetTemplateBarcodeData	選択中のテンプレートのbarcode要素のマップIDを指定し、バーコードデータを入力します。
DispSetTemplateQrCodeData	選択中のテンプレートのqr要素のマップIDを指定し、QRコードデータを入力します。
DispRegisterImageDataA ※1 DispRegisterImageDataW ※1	イメージデータを登録します。
DispUnregisterImageData	登録済みのイメージデータを削除します。
DispRegisterSlideDataA ※1 DispRegisterSlideDataW ※1	スライドデータを登録します。
DispUnregisterSlideData	登録済みのスライドデータを削除します。
DispRegisterUserDefinedCharacter	外字を登録します。
DispUnregisterUserDefinedCharacter	登録済みの外字を削除します。
DispRegisterOptionFontA ※1 DispRegisterOptionFontW ※1	オプションフォントを登録します。
DispUnregisterOptionFont	登録済みのオプションフォントを削除します。
DispControlMacroRegistration	マクロ登録の開始・終了を指定します。
DispDefragment	メモリ領域を最適化します。
DispGetMemory	メモリ領域の残り容量を取得します。
DispInitializeMemoryArea	メモリ領域を初期化します。
DispGetRegisteredStateList	コンテンツの登録の有無を取得します。
DispGetObjectLabelA ※1 DispGetObjectLabelW ※1	登録済みのコンテンツのラベル名を取得します。
DispGetResponseRequest	本APIを実行した時点で、指定した応答コードを取得します。

※1: 文字列の引数はMBCS(マルチバイトコード)、またはUNICODE(ユニコード)で指定します。MBCS(マルチバイトコード)を使用する場合は末尾に'A'、UNICODE(ユニコード)を使用する場合は末尾に'W'のついたAPIを呼び出してください。以降の説明ではAPI末尾の'A'、または'W'を省略して説明します。

※2: 文字列の引数はバイナリデータで指定します。

参考

- ディスプレイAPIの利用にあたり、テンプレートの登録はデータをXML形式で指定する必要があります。それらに必要な要素の詳細は「ディスプレイ用技術説明書」を参照する必要があります。また、スライド、テンプレート及びマクロの活用方法、及びディスプレイのステータスにおける状態遷移につきましても、「ディスプレイ用技術説明書」の熟読を推奨します。

3.4 API詳細

3.4.1 共通 API

OpenMonPrinter

Win32 APIの使用を開始し、APIハンドルを返します。

```
INT OpenMonPrinter(  
    INT i_type,  
    LPCTSTR i_prt)
```

パラメーター

i_type

オープンタイプ

3(固定)

プリンター経由で使用、及びディスプレイ単体で使用する場合はどちらの場合も3を指定してください。

i_prt

Win32 APIを使用するデバイス名

デバイス名(フレンドリ名)を指定します。

戻り値

成功 : デバイスを識別するAPIハンドルを返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 1プロセスで同時に取得できるAPIハンドルの数は最大8個です。全プロセスでは最大126個になります。
- 本APIで取得したAPIハンドルを使用しなくなった場合、必ず**CloseMonPrinter**を使って無効にしてください。
- ドライバーは下記の接続先に設定してください。
プリンター経由で使用する場合:
 プリンターのポートを指定してください。
ディスプレイ単体で使用し、かつプリンタードライバーを使用する場合:
 USBを指定してください。
- デバイスが未接続、または電源オフ状態でも本APIは成功します。

CloseMonPrinter

使用中のWin32 APIを終了します。

```
INT CloseMonPrinter(  
    INT i_hdl)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIで指定したAPIハンドルが他のAPIで使用中の場合は、その処理が完了するまで本APIの制御は戻りません。
- APIハンドルに関連付けられたすべての設定及びデータは、本APIで破棄されます。

LockPrinter

他のプロセスからのデバイスへのデータ送信及びハードウェアリセット要求を全て禁止(ロック)します。

```
INT LockPrinter(  
    INT i_hdl,  
    DWORD i_timeout)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_timeout

タイムアウト時間

本APIの成功を待つ時間を、ミリ秒(ms)で指定します。

有効範囲は3000～90000です。

3000未満の値を指定した場合は3000msに設定されます。

90000よりも大きい値を指定した場合は90000msに設定されます。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを呼び出してから、**UnlockPrinter**が呼び出されるまでの間に、他のプロセスからデバイスに直接アクセスするようなAPIを呼び出した場合、それらのAPIは失敗します。
- 本APIによりロックされるのは他のプロセスのみ有効です。自身のプロセスからの呼び出しはAPIハンドルやスレッドに関わらずロックの対象とはなりません。
- 本APIにより、同一のAPIハンドルで最大99回まで多重のロックが可能です。ロックを解除するためには本APIを呼び出した回数と同じ回数の**UnlockPrinter**を呼び出してください。
- 他のプロセスで**LockPrinter**が呼び出されている場合、本APIを呼び出すと失敗します。

UnlockPrinter

LockPrinterによる他プロセスからのアクセス禁止(ロック)を解除します。

```
INT UnlockPrinter(  
    INT i_hdl)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- **LockPrinter**が多重に呼び出されている場合、ロック解除には同じ回数の本APIの呼び出しが必要です。

DirectIO

バイナリデータを送信及び受信します。

```
INT DirectIO(  
    INT i_hdl,  
    BYTE i_wlen,  
    LPBYTE i_wcmd,  
    LPBYTE io_rlen,  
    LPBYTE o_rbuf,  
    DWORD i_timeout,  
    BOOL i_flag)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_wlen

送信データサイズ

送信するデータのサイズを指定します。

i_wcmd

送信データバッファ

送信するデータが格納されたバッファを指定します。

io_rlen

受信データサイズ

デバイスから受信するデータの最大長さを指定します。

データ取得が必要ない場合は、0バイトを指定してください。

APIから制御が戻ると取得した受信データサイズが格納されます。

o_rbuf

受信データバッファ

取得するデータを格納するバッファを指定します。

i_timeout

タイムアウト時間

本APIの成功を待つ時間を、ミリ秒(ms)で指定します。

有効範囲は3000～90000です。

3000未満の値を指定した場合は3000msに設定されます。

90000よりも大きい値を指定した場合は90000msに設定されます。

i_flag

受信動作フラグ

受信動作を指定します。

TRUE : 何らかのデータを受信するか、タイムアウトになるまで受信を続けます。

FALSE : 受信データサイズ分を受信するか、タイムアウトになるまで受信を続けます。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 別データの割り込みが許されないコマンドやデータ、イメージデータの送信の場合は、**LockPrinter**を呼び出した後に本APIを呼び出してください。**LockPrinter**を呼び出さない場合、別プロセスからのデータが割り込む恐れがあります。
- 他のプロセスで**LockPrinter**が呼び出されている場合、本APIを呼び出すと失敗します。
- デバイスと未接続、または通信不能状態の場合は、本APIは失敗します。

DirectIOEx

バイナリデータを送信及び受信します。

```
INT DirectIOEx(  
    INT i_hdl,  
    DWORD i_wlen,  
    LPBYTE i_wcmd,  
    LPDWORD io_rlen,  
    LPBYTE o_rbuf,  
    DWORD i_timeout,  
    BOOL i_flag,  
    BYTE i_op)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_wlen

送信データサイズ

送信するデータのサイズを指定します。

i_wcmd

送信データバッファ

送信するデータが格納されたバッファを指定します。

io_rlen

受信データサイズ

デバイスから受信するデータの最大長さを指定します。

最大受信データサイズは4096バイトです。

4096よりも大きい値を指定した場合は4096バイトに設定されます。

データ取得が必要ない場合は、0を指定してください。

APIから制御が戻ると受信されたデータサイズが格納されます。

o_rbuf

受信データバッファ

取得するデータを格納するバッファを指定します。

i_timeout

タイムアウト時間

本APIの成功を待つ時間を、ミリ秒(ms)で指定します。
有効範囲は3000～90000です。
3000未満の値を指定した場合は3000msに設定されます。
90000よりも大きい値を指定した場合は90000msに設定されます。

i_flag

受信動作フラグ

受信動作を指定します。
TRUE : 何らかのデータを受信するか、タイムアウトになるまで受信を続けます。
FALSE : 受信データサイズ分を受信するか、タイムアウトになるまで受信を続けます。

i_op

受信対象オプション

受信対象のデータを指定します。
プリンター経由で使用する場合：
0 : ASB設定コマンドの応答を除いたデータを取得します。
1 : ASB設定コマンドの応答を含めたデータを取得します。
ディスプレイ単体で使い、かつプリンタードライバーを使用する場合：
0を指定してください。

戻り値

成功 : 0を返します。
失敗 : エラーコードを返します。
エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 別データの割り込みが許されないコマンドやデータ、イメージデータの送信の場合は、**LockPrinter**を呼び出した後に本APIを使用してください。**LockPrinter**を呼び出さない場合、別プロセスからのデータが割り込む恐れがあります。
- 他のプロセスで**LockPrinter**が呼び出されている場合、本APIを呼び出すと失敗します。
- デバイスと未接続、または通信不能状態の場合は、本APIは失敗します。

3.4.2 専用 API

画面の表示

DispShowTemplate

画面をテンプレート表示にします。

```
INT DispShowTemplate(  
    INT i_hdl,  
    INT i_time )
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_time

表示時間

画面に表示する時間を、ミリ秒(ms)で指定します。

有効範囲は0～25500です。

0を超える値、かつ100未満の値を指定した場合は100msに設定されます。

25500を超える値を指定した場合は25500msに設定されます。

DispControlMacroRegistrationでマクロ登録されている場合：

*i_time*に0を指定した場合は、テンプレート表示を続けます。

*i_time*に0以外を指定した場合は、表示時間経過後は次のテンプレートに移ります。

DispControlMacroRegistrationでマクロ登録されていない場合：

*i_time*に0を指定した場合は、テンプレート表示を続けます。

*i_time*に0以外を指定した場合は、表示時間経過後は直前のテンプレートに戻ります。

直前に表示時間に0以外を指定して画面更新を行っていた場合は、0を指定して画面更新を行ったテンプレートまで戻ります。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行すると画面を更新し、下記のAPIで指定されたデータを表示します。
 - **DispSetTemplateImageData**
 - **DispSelectTemplateTextObject**
 - **DispSetTemplateTextAlignment**
 - **DispSetTemplateTextLeftMargin**
 - **DispSetTemplateTextBold**

- **DispSetTemplateTextUnderline**
- **DispSetTemplateTextSize**
- **DispSetTemplateTextFont**
- **DispSetRegisteredFont**
- **DispSetCodePage**
- **DispSetInternationalCharacter**
- **DispSetTemplateTextRightSpacing**
- **DispSetTemplateTextColor**
- **DispSetTemplateTextLineSpacing**
- **DispSetTemplateTextData**
- **DispSetTemplateBarcodeData**
- **DispSetTemplateQrCodeData**

- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispShowSlide

画面をスライド表示にします。

```
INT DispShowSlide(
    INT i_hdl,
    INT i_slideID,
    INT i_time )
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_slideID

スライドID

DispRegisterSlideDataで登録したスライドデータのスライドIDを指定します。

有効範囲は0～91です。

指定したスライドIDにスライドデータが登録されていない場合は無視されます。

i_time

表示時間

画面に表示する時間を、ミリ秒(ms)で指定します。

有効範囲は0～25500です。

0を超える値、かつ100未満の値を指定した場合は100msに設定されます。

25500を超える値を指定した場合は25500msに設定されます。

DispControlMacroRegistrationでマクロ登録されている場合：

*i_time*に0を指定した場合は、スライド表示を続けます。

*i_time*に0以外を指定した場合は、表示時間経過後は次のスライドに移ります。

DispControlMacroRegistrationでマクロ登録されていない場合：

*i_time*に0を指定した場合は、スライド表示を続けます。

*i_time*に0以外を指定した場合は、表示時間経過後は直前のスライドに戻ります。

直前に表示時間に0以外を指定して画面更新を行っていた場合は、0を指定して画面更新を行ったスライドまで戻ります。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行すると選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispTurnOnScreen

画面のバックライトのオン・オフを設定します。

```
INT DispTurnOnScreen (  
    INT i_hdl,  
    BOOL i_turnon)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_turnon

動作フラグ

動作を指定します。

TRUE : 画面のバックライトをオンします。

FALSE : 画面のバックライトをオフします。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispEnterStandbyMode

ディスプレイをスタンバイモードにします。

```
INT DispEnterStandbyMode(  
    INT i_hdl)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

備考

- ・本APIはスタンバイモード中、及びガイドモード中は無視されます。
- ・本APIを実行すると選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- ・プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispExecuteMacro

登録済みのマクロを実行します。

```
INT DispExecuteMacro(  
    INT i_hdl,  
    INT i_macroID,  
    INT i_cnt)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_macroID

マクロID

実行するマクロのマクロIDを指定します。

有効範囲は0～127です。

指定したマクロIDにマクロが登録されていない場合は無視されます。

i_cnt

実行回数

マクロの実行回数を指定します。

有効範囲は0～255です。

0を指定した場合は、繰り返しを継続します。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

テンプレート

DispRegisterTemplate

テンプレートを登録します。

```
INT DispRegisterTemplate(  
    INT i_hdl,  
    INT i_templateID,  
    LPCTSTR i_label,  
    LPCTSTR i_fname)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_templateID

テンプレートID

登録するテンプレートのテンプレートIDを指定します。

有効範囲は0～127です。

テンプレートID127はシステムで利用していますので、指定しないでください。

i_label

テンプレート名

テンプレート名を指定します。

指定可能な文字は、英数字('0'～'9'、'A'～'Z'、'a'～'z')などのASCII文字コード0x20(スペース)～0x7E(チルダ)の文字です。

ユニコードの0x00A5('¥')は用いないでください。

指定可能な文字数は0～32文字です。

*i_label*は省略することも可能です。省略する場合はNULLを指定してください。

i_fname

ファイルパス

*i_templateID*で指定したIDに*i_fname*で指定したファイルをテンプレートデータとして登録します。

テンプレートデータはXML形式で登録してください。

登録可能な最大データサイズは8192バイトです。

登録するテンプレートデータの詳細については「ディスプレイ用技術説明書」を参照してください。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

注意

工場出荷時に登録されるデータは、品質向上のため予告無く追加・変更される場合があります。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispUnregisterTemplate

登録済みのテンプレートを削除します。

```
INT DispUnregisterTemplate(  
    INT i_hdl,  
    INT i_templateID)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_templateID

テンプレートID

削除するテンプレートのテンプレートIDを指定します。

有効範囲は0～127です。

指定したテンプレートIDにテンプレートが登録されていない場合は無視されます。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- テンプレートを削除しても使用済みのメモリは解放されません。使用済みのメモリは、DispDefragmentを実行すると再度利用できます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSelectTemplate

テンプレートを選択します。

```
INT DispSelectTemplate(  
    INT i_hdl,  
    INT i_templateID,  
    INT i_slideID)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_templateID

テンプレートID

選択するテンプレートのテンプレートIDを指定します。

有効範囲は0～127です。

指定したテンプレートIDにテンプレートが登録されていない場合は無視されます。

i_slideID

スライドID

背景画面として表示するスライドデータのスライドIDを指定します。

有効範囲は-1～91です。

-1を指定した場合、背景画面は表示されません。

指定したスライドIDにスライドデータが登録されていない場合は無視されます。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとテンプレート上のデータはクリアされます。
- 本APIで選択したテンプレートはDispShowTemplateを実行すると画面に表示されます。
- 本APIで選択したテンプレートは下記の条件で選択が解除されます。
 - DispShowTemplate の *i_time* で表示時間を指定した場合
 - DispShowSlide、DispEnterStandbyMode、DispExecuteMacro を実行した場合
 - 本APIを新たに実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSetTemplateImageData

選択中のテンプレートに表示するイメージデータを設定します。

```
INT DispSetTemplateImageData(  
    INT i_hdl,  
    INT i_mapID,  
    INT i_imageID)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_mapID

マップID

選択中のテンプレートに定義されているimg要素のマップIDを指定してください。
有効範囲は0～63です。

指定したマップIDがテンプレートに定義されていない場合は無視されます。

i_imageID

イメージID

指定した*i_mapID*に表示するイメージデータのイメージIDを指定します。

有効範囲は0～63です。

指定したイメージIDにイメージデータが登録されていない場合は無視されます。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **DispSelectTemplate** を実行した場合
 - **DispShowTemplate** の *i_time* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **DispExecuteMacro** に登録されている **DispShowTemplate** を実行した場合
- テンプレートが未選択の場合は無視されます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSelectTemplateTextObject

編集を開始するtext要素を選択します。

```
INT DispSelectTemplateTextObject(  
    INT i_hdl,  
    INT i_mapID)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_mapID

マップID

選択中のテンプレートに定義されているtext要素のマップIDを指定します。

有効範囲は0～63です。

指定したマップIDがテンプレートに定義されていない場合は無視されます。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 選択中のテンプレートのマップIDを本APIで指定してから、文字の編集を開始してください。
- 指定したマップIDのtext要素にスクロールを設定している場合は、**DispShowTemplate**の後に本APIを実行するとスクロールを実行します。
指定したマップIDのtext要素にスクロールを設定していない場合は、**DispShowTemplate**の後に本APIを実行すると入力済みのテキストデータを破棄します。
- 本APIの指定は下記の条件でクリアされます。
 - **DispSelectTemplate** を実行した場合
 - **DispShowTemplate** を実行した場合
- テンプレートが未選択の場合は無視されます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSetTemplateTextAlignment

テキストデータに位置揃えを設定します。

```
INT DispSetTemplateTextAlignment(  
    INT i_hdl,  
    INT i_halign )
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_halign

位置揃え

位置揃えを設定します。

設定可能な内容は、「6.2 位置揃え」を参照してください。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 位置揃えは下記の場合のみ有効です。
 - **DispSelectTemplateTextObject** で指定したマップ ID にテキストデータが未入力時
 - **DispSelectTemplateTextObject** で指定したマップ ID に入力したテキストデータが改行直後
- 本APIを実行する前に**DispSelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**DispSetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**DispShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **DispSelectTemplate** を実行した場合
 - **DispShowTemplate** の *i_time* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **DispExecuteMacro** に登録されている **DispShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSetTemplateTextLeftMargin

テキストデータに左マージンを設定します。

```
INT DispSetTemplateTextLeftMargin(  
    INT i_hdl,  
    INT i_margin)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_margin

左マージン

左マージンを、ピクセル(px)で設定します。

有効範囲は0～479です。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 左マージンの設定は下記の場合のみ有効です。
 - **DispSelectTemplateTextObject** で指定したマップ ID にテキストデータが未入力時
 - **DispSelectTemplateTextObject** で指定したマップ ID に入力したテキストデータが改行直後
- 本APIを実行する前に**DispSelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**DispSetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**DispShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **DispSelectTemplate** を実行した場合
 - **DispShowTemplate** の *i_time* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **DispExecuteMacro** に登録されている **DispShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSetTemplateTextBold

テキストデータに強調文字を設定します。

```
INT DispSetTemplateTextBold(  
    INT i_hdl,  
    BOOL i_bold)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_bold

強調文字の指定／解除フラグ

強調文字の指定／解除を設定します。

TRUE : 強調文字を指定します。

FALSE : 強調文字を解除します。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータから強調文字は適用されます。1文字ずつ強調文字の設定ができます。
- 本APIを実行する前に**DispSelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**DispSetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**DispShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **DispSelectTemplate** を実行した場合
 - **DispShowTemplate** の *i_time* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **DispExecuteMacro** に登録されている **DispShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSetTemplateTextUnderline

テキストデータにアンダーラインを設定します。

```
INT DispSetTemplateTextUnderline(  
    INT i_hdl,  
    BOOL i_underline )
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_underline

アンダーラインの指定／解除フラグ

アンダーラインの指定／解除を設定します。

TRUE : アンダーラインを指定します。

FALSE : アンダーラインを解除します。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータからアンダーラインは適用されます。1文字ずつアンダーラインの設定ができます。
- 本APIを実行する前に**DispSelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**DispSetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**DispShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **DispSelectTemplate** を実行した場合
 - **DispShowTemplate** の *i_time* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **DispExecuteMacro** に登録されている **DispShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSetTemplateTextSize

テキストデータに文字サイズを設定します。

```
INT DispSetTemplateTextSize(  
    INT i_hdl,  
    INT i_hscale,  
    INT i_vscale )
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_hscale

横方向倍率

横方向の文字サイズを設定します。

設定可能な内容は、「6.3 文字サイズ」を参照してください。

i_vscale

縦方向倍率

縦方向の文字サイズを設定します。

設定可能な内容は、「6.3 文字サイズ」を参照してください。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータから文字サイズは適用されます。1文字ずつ文字サイズの設定ができます。
- 本APIを実行する前に**DispSelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**DispSetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**DispShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **DispSelectTemplate** を実行した場合
 - **DispShowTemplate** の *i_time* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **DispExecuteMacro** に登録されている **DispShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSetTemplateTextFont

テキストデータに文字フォントを設定します。

```
INT DispSetTemplateTextFont(  
    INT i_hdl,  
    INT i_font )
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_font

文字フォント

文字フォントを設定します。

設定可能な内容は、「6.4 文字フォント」を参照してください。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータから文字フォントは適用されます。1文字ずつ文字フォントの設定ができます。
- 本APIを実行する前に**DispSelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**DispSetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**DispShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **DispSelectTemplate** を実行した場合
 - **DispShowTemplate** の *i_time* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **DispExecuteMacro** に登録されている **DispShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSetTemplateTextRegisteredFont

テキストデータで使用する登録フォントを設定します。

```
INT DispSetTemplateTextRegisteredFont(  
    INT i_hdl,  
    INT i_font )
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_font

登録フォント

登録フォントを設定します。

設定可能な内容は、「6.5 登録フォント」を参照してください。

オプションフォントが登録されていない場合は無視されます。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータから登録フォントは適用されます。1文字ずつ登録フォントの設定ができます。
- 本APIを実行した後に**DispSetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**DispShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **DispSelectTemplate** を実行した場合
 - **DispShowTemplate** の *i_time* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **DispExecuteMacro** に登録されている **DispShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSetCodePage

テキストデータで使用するコードページを設定します。

```
INT DispSetCodePage(  
    INT i_hdl,  
    INT i_codepage )
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_codepage

コードページ

コードページを設定します。

設定可能な内容は、「5.6 コードページ」を参照してください。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータからコードページは適用されます。1文字ずつコードページの設定ができます。
- 本APIでコードページの設定を行っていない場合は、Windows OSの言語設定により下記のコードページとなります。
 - 言語設定が日本の場合: カタカナ文字セット
 - 言語設定が日本以外の場合: コードページ 1252
- テンプレートのエンコード指定がShift_JISの場合は、0x80～0x9F、及び0xE0～0xFFの文字は表示できません。表示させる場合は、エンコード指定がISO-2022-JPのテンプレートを使用してください。
- 本APIを実行する前に**DispSelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **DispSelectTemplate** を実行した場合
 - **DispShowTemplate** の *i_time* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **DispExecuteMacro** に登録されている **DispShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSetInternationalCharacter

テキストデータで使用する国際文字セットを設定します。

```
INT DispSetInternationalCharacter(  
    INT i_hdl,  
    INT i_intlchar)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_intlchar

国際文字セット

国際文字セットを設定します。

設定可能な内容は、「6.7 国際文字セット」を参照してください。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータから国際文字セットは適用されます。1文字ずつ国際文字セットの設定ができます。
- 本APIを実行する前に**DispSelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **DispSelectTemplate** を実行した場合
 - **DispShowTemplate** の *i_time* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **DispExecuteMacro** に登録されている **DispShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSetTemplateTextRightSpacing

テキストデータに右スペース量を設定します。

```
INT DispSetTemplateTextRightSpacing(  
    INT i_hdl,  
    INT i_spacing)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_spacing

文字の右スペース量

右スペース量を、ピクセル(px)で設定します。

有効範囲は0～255です。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータから文字の右スペース量は適用されます。1文字ずつ右スペース量の設定ができます。
- 本APIを実行する前に**DispSelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**DispSetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**DispShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **DispSelectTemplate** を実行した場合
 - **DispShowTemplate** の *i_time* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **DispExecuteMacro** に登録されている **DispShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSetTemplateTextColor

テキストデータで使用する文字色を設定します。

```
INT DispSetTemplateTextColor(  
    INT i_hdl,  
    DWORD i_color)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_color

文字色

文字色を設定します。

設定可能な内容は、「6.8 文字色」を参照してください。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータから文字色は適用されます。1文字ずつ文字色の設定ができます。
- 本APIを実行する前に**DispSelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**DispSetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**DispShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **DispSelectTemplate** を実行した場合
 - **DispShowTemplate** の *i_time* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **DispExecuteMacro** に登録されている **DispShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSetTemplateTextLineSpacing

テキストデータに改行量を設定します。

```
INT DispSetTemplateTextLineSpacing(  
    INT i_hdl,  
    INT i_spacing)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_spacing

改行量

改行量を、ピクセル(px)で設定します。

有効範囲は0～255です。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 改行量の設定は下記の場合のみ有効です。
 - **DispSelectTemplateTextObject** で指定したマップ ID にテキストデータが未入力時
 - **DispSelectTemplateTextObject** で指定したマップ ID に入力したテキストデータが改行直後
- 指定したマップIDのtext要素にスクロールを設定している場合は、本APIの設定は反映されません。
- 本APIを実行する前に**DispSelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**DispSetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**DispShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **DispSelectTemplate** を実行した場合
 - **DispShowTemplate** の *i_time* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **DispExecuteMacro** に登録されている **DispShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSetTemplateTextData

DispSelectTemplateTextObjectで指定したtext要素に表示するテキストデータを入力します。

(a)の構文は、テキストデータをマルチバイトコード、またはユニコードで入力します。

(b)の構文は、テキストデータをバイナリデータで入力します。

(a) INT DispSetTemplateTextData(

INT *i_hdl*,

LPCTSTR *i_text*)

(b) INT DispSetTemplateTextBData(

INT *i_hdl*,

INT *i_len*,

LPBYTE *i_data*)

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_len

データ長さ

テキストデータのデータ長さを指定します。

i_text (*i_data*)

テキストデータ

テキストデータを入力します。

一度に指定可能なデータサイズは1～1020バイトです。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIは入力されたテキストデータをDispSetInternationalCharacter、及びDispSetCodePageの設定を基にディスプレイで表示可能なテキストデータにエンコードしてディスプレイに表示します。エンコードできなかったテキストは、「?」として表示されます。
- 本APIを実行する前にDispSelectTemplateでテンプレートを選択してください。
- 選択中のテンプレートのマップIDをDispSelectTemplateTextObjectで指定してから、本APIでテキストデータを入力してください。DispSelectTemplateTextObjectでマップIDが指定されていない場合は、無視されます。
- 本APIで入力したテキストデータはDispShowTemplateを実行すると画面に表示されます。
- 本APIで入力したテキストデータは下記の条件でクリアされます。
 - DispSelectTemplate を実行した場合
 - DispShowTemplate の *i_time* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - DispExecuteMacro に登録されている DispShowTemplate を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSetTemplateBarcodeData

選択中のテンプレートのbarcode要素のマップIDを指定し、バーコードデータを入力します。

```
INT DispSetTemplateBarcodeData(  
    INT i_hdl,  
    INT i_mapID,  
    INT i_len,  
    LPBYTE i_data)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_mapID

マップID

選択中のテンプレートに定義されているbarcode要素のマップIDを指定してください。
有効範囲は0～7です。

指定したマップIDが選択中のテンプレートに定義されていない場合は無視されます。

i_len

データ長さ

バーコードデータのデータ長さを指定します。

i_data

バーコードデータ

バーコードデータを入力します。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- バーコードデータのデータ長さ、及び指定については、「ディスプレイ用技術説明書」のディスプレイコマンド「バーコードデータの入力」を参照してください。
- 入力したバーコードデータはDispShowTemplateを実行すると画面に表示されます。
- 本APIで入力したバーコードデータは下記の条件でクリアされます。
 - DispSelectTemplate を実行した場合
 - DispShowTemplate の *i_time* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - DispExecuteMacro に登録されている DispShowTemplate を実行した場合
- テンプレートが未選択の場合は無視されます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispSetTemplateQrCodeData

選択中のテンプレートのqr要素のマップIDを指定し、QRコードデータを入力します。

```
INT DispSetTemplateQrCodeData(  
    INT i_hdl,  
    INT i_mapID,  
    INT i_size,  
    INT i_errcrct,  
    INT i_mode,  
    BOOL i_quiet,  
    INT i_len,  
    LPBYTE i_data)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_mapID

マップID

選択中のテンプレートに定義されているqr要素のマップIDを指定してください。

有効範囲は0～7です。

指定したマップIDが選択中のテンプレートに定義されていない場合は無視されます。

i_size

モジュールサイズ

モジュールサイズを指定します。

指定可能な内容は、「6.9 モジュールサイズ」を参照してください。

i_errcrct

エラー訂正レベル

エラー訂正レベルを指定します。

指定可能な内容は、「6.10 エラー訂正レベル」を参照してください。

*i_size*で0を指定する場合は、本パラメーターは無視されます。

i_mode

データモード

データモードを指定します。

指定可能な内容は、「6.11 データモード」を参照してください。

*i_size*で0を指定する場合は、本パラメーターは無視されます。

i_quiet

クワイエットゾーンあり／なし

クワイエットゾーンを含めて表示するか、含めずに表示するかを指定します。

TRUE : クワイエットゾーンあり

FALSE : クワイエットゾーンなし

*i_size*で0を指定する場合は、本パラメーターは無視されます。

i_len

データ長さ

QRコードのデータ長さを指定します。

有効範囲は1～3909です。

i_data

QRコードデータ

QRコードデータを入力します。

QRコードデータの入力については、QRコードのデータ入力形式に則したデータを入力してください。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 入力したQRコードデータは**DispShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIで入力したQRコードデータは下記の条件で指定がクリアされます。
 - **DispSelectTemplate** を実行した場合
 - **DispShowTemplate** の *i_time* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **DispExecuteMacro** に登録されている **DispShowTemplate** を実行した場合
- テンプレートが未選択の場合は無視されます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

画像登録

DispRegisterImageData

イメージデータを登録します。

```
INT DispRegisterImageData(  
    INT i_hdl,  
    INT i_imageID,  
    LPCTSTR i_label,  
    LPCTSTR i_fname)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_imageID

イメージID

登録するイメージデータのイメージIDを指定します。

有効範囲は0～63です。

イメージID49～63はシステムで利用していますので、指定しないでください。

i_label

ラベル名

ラベル名を指定します。

指定可能な文字は、英数字('0'～'9'、'A'～'Z'、'a'～'z')などのASCII文字コード0x20(スペース)～0x7E(チルダ)の文字です。

ユニコードの0x00A5('¥')は用いないでください。

指定可能な文字数は0～32文字です。

*i_label*は省略することも可能です。省略する場合はNULLを指定してください。

指定したラベル名はDispGetObjectLabelで取得できます。

i_fname

ファイルパス

*i_imageID*で指定したIDにイメージデータを登録します。

決められた形式で作成されたイメージデータのファイル名を指定します。

サポートするファイルの拡張子は.jpg、.jpeg、及び.pngです。ただし、サポートする拡張子であっても、フォーマットによっては登録できない場合があります。

登録できる最大データサイズは横480×縦272ピクセル(px)です。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

注意

工場出荷時に登録されるデータは、品質向上のため予告無く追加・変更される場合があります。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispUnregisterImageData

登録済みのイメージデータを削除します。

```
INT DispUnregisterImageData(  
    INT i_hdl,  
    INT i_imageID)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_imageID

イメージID

削除するイメージデータのイメージIDを指定します。

有効範囲は0～63です。

指定したイメージIDにイメージデータが登録されていない場合は無視されます。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- イメージデータを削除しても使用済みのメモリは解放されません。使用済みのメモリは、DispDefragmentを実行すると再度利用できます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispRegisterSlideData

スライドデータを登録します。

```
INT DispRegisterSlideData(  
    INT i_hdl,  
    INT i_slideID  
    LPCTSTR i_label,  
    LPCTSTR i_fname)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_slideID

スライドID

登録するスライドデータのスライドIDを指定します。

有効範囲は0～91です。

スライドID80～90はシステムで利用していますので、指定しないでください。

i_label

ラベル名

ラベル名を指定します。

指定可能な文字は、英数字('0'～'9'、'A'～'Z'、'a'～'z')などのASCII文字コード0x20(スペース)～0x7E(チルダ)の文字です。

ユニコードの0x00A5('¥')は用いないでください。

指定可能な文字数は0～32文字です。

*i_label*は省略することも可能です。省略する場合はNULLを指定してください。

指定したラベル名はDispGetObjectLabelで取得できます。

i_fname

ファイルパス

*i_slideID*で指定したIDにスライドデータを登録します。

決められた形式で作成されたスライドデータのファイル名を指定します。

サポートするファイルの拡張子は.jpg、.jpeg、及び.pngです。ただし、サポートする拡張子であっても、フォーマットによっては登録できない場合があります。

登録できるデータサイズは横480×縦272ピクセル(px)固定です。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

注意

工場出荷時に登録されるデータは、品質向上のため予告無く追加・変更される場合があります。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- 登録したスライドデータを表示する場合はDispShowSlideを実行してください。

- 登録したスライドデータをテンプレートの背景として使用する場合は**DispSelectTemplate**でスライドIDを指定してください。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispUnregisterSlideData

登録済みのスライドデータを削除します。

```
INT DispUnregisterSlideData(
    INT i_hdl,
    INT i_slideID )
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_slideID

スライドID

削除するスライドデータのスライドIDを指定します。

有効範囲は0～91です。

指定したスライドIDにスライドデータが登録されていない場合は無視されます。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

文字登録

DispRegisterUserDefinedCharacter

外字を登録します。

```
INT DispRegisterUserDefinedCharacter(  
    INT i_hdl,  
    LPCTSTR i_fname)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_fname

ファイルパス

決められた形式で作成された外字データのファイル名を指定します。

サポートするファイルの拡張子は.binです。

外字データについては、「ディスプレイ用技術説明書」のディスプレイコマンド「外字の登録」を参照してください。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- 外字が登録済みの状態で本APIを実行した場合は、外字は上書きされます。
- 外字の表示にはエンコード指定がShift_JISのテンプレートを使用してください。
- 外字を表示する前にDispSetCodePageの*i_codepage*に1を指定してください。
- 外字を表示する際はDispSetTemplateTextDataの*i_text*、またはDispSetTemplateTextBDataの*i_data*に指定可能な文字コードを指定してください。
指定可能な文字コードは下記の通りです。
 - MBCS(マルチバイトコード)の場合 : 0xF040～0xF07E、及び 0xF080～0xF09E
 - UNICODE(ユニコード)の場合 : 0xE000～0xE05D
 - バイナリデータの場合 : 0xEC40～0xEC7E、及び 0xEC80～0xEC9E
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispUnregisterUserDefinedCharacter

登録済みの外字を削除します。

```
INT DispUnregisterUserDefinedCharacter(  
    INT i_hdl)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- 登録済みの外字は全て削除されます。
- 外字を削除しても使用済みのメモリは解放されません。使用済みのメモリは、**DispDefragment**を実行すると再度利用できます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispRegisterOptionFont

オプションフォントを登録します。

```
INT DispRegisterOptionFont(  
    INT i_hdl,  
    INT i_startcode,  
    INT i_endcode,  
    INT i_width,  
    INT i_height,  
    LPCTSTR i_fname)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_startcode

登録開始文字コード

登録を開始する文字コードを指定します。

有効範囲はASCIIコードで0x20～0xFFです。

i_endcode

登録終了文字コード

登録を終了する文字コードを指定します。
有効範囲はASCIIコードで0x20～0xFFです。

i_width

文字幅

文字幅を、ピクセル(px)で指定します。

i_height

文字高さ

文字高さを、ピクセル(px)で指定します。

i_fname

ファイルパス

決められた形式で作成されたオプションフォントデータのファイル名を指定します。
サポートするファイルの拡張子は.binです。
オプションフォントデータについては、「ディスプレイ用技術説明書」のディスプレイコマンド
「オプションフォントの登録」を参照してください。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- オプションフォントが登録済みの状態で本APIを実行した場合は、登録済みのオプションフォントは削除され、新たにメモリ領域を確保してオプションフォントを登録します。
登録済みのオプションフォントが削除されても使用済みのメモリは解放されません。使用済みのメモリは、DispDefragmentを実行すると再度利用できます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispUnregisterOptionFont

登録済みのオプションフォントを削除します。

```
INT DispUnregisterOptionFont(  
    INT i_hdl)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- 登録済みのオプションフォントは全て削除されます。
- オプションフォントを削除しても使用済みのメモリは解放されません。使用済みのメモリは、**DispDefragment**を実行すると再度利用できます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

マクロ

DispControlMacroRegistration

マクロ登録の開始・終了を指定します。

```
INT DispControlMacroRegistration(  
    INT i_hdl,  
    INT i_macroID,  
    INT i_mode )
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_macroID

マクロID

登録するマクロのマクロIDを指定します。

有効範囲は-1～127です。

マクロID120～126はシステムで利用していますので、指定しないでください。

マクロID	内容
120	Bluetoothペアリング中
121	カッターエラー
122	Vp電圧エラー
123	ヘッド温度エラー
124	ハードウェアエラー
125	カバーオープンエラー
126	紙無しエラー
127	スタンバイ(初期値)

i_mode

マクロ処理選択

マクロ処理を選択します。

指定可能な内容は、「6.12 マクロ処理選択」を参照してください。

マクロ処理選択の手順は下記の通りです。

マクロ登録を開始する：

*i_mode*に0を指定するとマクロ登録を開始します。

*i_macroID*に-1を指定してください。

登録開始後、登録対象のAPIとそのデータはSDK内部のメモリにバッファリングされます。

マクロ登録できる最大データサイズは1024バイトです。

登録対象以外のAPIとそのデータは、登録されずに即実行されます。

登録対象のAPIを下記に示します。

- DispSelectTemplate
- DispSetTemplateImageData
- DispSelectTemplateTextObject
- DispSetTemplateTextData
- DispSetTemplateTextAlignment
- DispSetTemplateTextLeftMargin
- DispSetTemplateTextBold
- DispSetTemplateTextUnderline
- DispSetTemplateTextSize
- DispSetTemplateTextFont
- DispSetRegisteredFont
- DispSetCodePage
- DispSetInternationalCharacter
- DispSetTemplateTextRightSpacing
- DispSetTemplateTextColor
- DispSetTemplateTextLineSpacing
- DispSetTemplateBarcodeData
- DispSetTemplateQrCodeData
- DispShowTemplate
- DispShowSlide

マクロを登録して終了する:

*i_model*に1を指定すると、指定したマクロIDにマクロを登録し、本APIを終了します。

*i_macroID*に登録するマクロIDを指定してください。

本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。

マクロを登録しないで終了する:

*i_model*に2を指定すると、バッファリングしていた登録対象のAPIとそのデータを破棄し本APIを終了します。選択中のテンプレートは選択が解除されます。

登録済みのマクロを削除する:

*i_model*に0を指定し、*i_macroID*に-1を指定して本APIを呼び出してください。

*i_model*に1を指定し、*i_macroID*に削除するマクロIDを指定して本APIを呼び出してください。

本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。

登録したマクロはDispExecuteMacroで実行できます。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

注意

工場出荷時に登録されるデータは、品質向上のため予告無く追加・変更される場合があります。

備考

- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

メモリ操作

DispDefragment

メモリ領域を最適化します。

```
INT DispDefragment(  
    INT i_hdl,  
    INT i_area )
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_area

メモリ領域

1を指定してください。ユーザ領域を指定します。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- 最適化中にデバイスの電源をオフにしないでください。
- 最適化には数分かかることがあります。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

DispGetMemory

メモリ領域の残り容量を取得します。

```
INT DispGetMemory(  
    INT i_hdl,  
    INT i_area,  
    LPDWORD o_size )
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_area

メモリ領域

1を指定してください。ユーザ領域を指定します。

o_size

取得データサイズ

メモリ領域の残り容量の応答を格納するバッファサイズを指定します。

APIから制御が戻ると取得したメモリ領域の残り容量のデータサイズが格納されます。

指定したバッファサイズが取得するメモリ領域の残り容量のデータサイズよりも小さい場合は、本APIは失敗し、指定したメモリ領域の残り容量のデータサイズが格納されません。

戻り値

成功 : 解放されている領域を除いた、利用可能な残り容量を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

DispInitializeMemoryArea

メモリ領域を初期化します。

```
INT DispInitializeMemoryArea(  
    INT i_hdl,  
    INT i_area )
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_area

メモリ領域

1を指定してください。ユーザ領域を指定します。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

注意

*i_areal*に1を指定して初期化すると、下記のAPIで登録したデータは削除されます。

- DispRegisterTemplate
- DispRegisterImageData
- DispControlMacroRegistration
- DispRegisterUserDefinedCharacter
- DispRegisterOptionFont

工場出荷時に登録されるシステムで利用する一部のデータも削除されます。

それにより、ディスプレイをプリンター経由で使用する場合は、プリンターでエラーなどが発生した際にガイド画面が表示できなくなります。

ディスプレイ単体で使用する場合は、ガイド画面の表示はありません。

使用済みのメモリ領域を再度利用する場合は、DispDefragmentをご利用ください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- ユーザ領域を初期化すると、登録済みのテンプレート、イメージデータ、外字、オプションフォント、及びマクロ機能はすべてクリアされ、初期状態になります。
- 初期化中にデバイスの電源をオフにしないでください。
- 初期化には数分かかることがあります。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

応答機能

DispGetRegisteredStateList

コンテンツの登録の有無を取得します。

```
INT DispGetRegisteredStateList(  
    INT i_hdl,  
    INT i_type,  
    LPINT io_len,  
    LPBYTE o_list)
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_type

コンテンツタイプ

応答を取得するコンテンツタイプを指定します。

指定可能な内容は、「6.1 コンテンツタイプ」を参照してください。

io_len

データ長さ

取得するデータの最大長さを指定します。

APIから制御が戻ると取得したデータサイズが格納されます。

o_list

コンテンツの登録の有無を格納するバッファ

コンテンツの登録の有無を格納するバッファを指定します。

*i_type*で指定したコンテンツタイプの登録状態が、IDの0番から順番にバッファに格納されます。

データが登録済みの場合は1、登録されていない場合は0が格納されます。

指定するバッファのサイズはコンテンツタイプにより異なります。

コンテンツタイプ	指定するバッファのサイズ
テンプレート	128
スライド	24
イメージ	64

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

DispGetObjectLabel

登録済みのコンテンツのラベル名を取得します。

```
INT DispGetObjectLabel(  
    INT i_hdl,  
    INT i_type,  
    INT i_objectID,  
    LPINT io_len,  
    LPSTR o_data )
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_type

コンテンツタイプ

応答を取得するコンテンツタイプを指定します。

指定可能な内容は、「6.1 コンテンツタイプ」を参照してください。

i_objectID

コンテンツのID

テンプレートの場合：

DispRegisterTemplateで登録したテンプレートの*i_templateID*を指定してください。

スライドの場合：

DispRegisterSlideDataで登録したスライドデータの*i_slideID*を指定してください。

イメージの場合：

DispRegisterImageDataで登録したイメージデータの*i_imageID*を指定してください。

io_len

データ長さ

取得するデータの最大長さを指定します。

APIから制御が戻ると取得したデータサイズが格納されます。

o_data

受信データ

*i_objectID*で指定したIDにコンテンツが登録されていない場合はNULLを返します。

戻り値

成功 : 0を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

DispGetResponseRequest

本APIを実行した時点で、指定した応答コードを取得します。

```
INT DispGetResponseRequest(  
    INT i_hdl,  
    INT i_id,  
    INT i_timeout )
```

パラメーター

i_hdl

APIハンドル

OpenMonPrinterで取得したAPIハンドルを指定します。

i_id

応答コード

本APIの実行で返す応答コードを指定します。

有効範囲は0～255です。

ただし、上位4ビットは無視されます。

i_timeout

タイムアウト時間

本APIの成功を待つ時間を、ミリ秒(ms)で指定します。

有効範囲は3000～90000です。

3000未満の値を指定した場合は3000msに設定されます。

90000よりも大きい値を指定した場合は90000msに設定されます。

戻り値

成功 : *i_id*で指定した応答コードを返します。

応答形式は、指定した*i_id*の下位4ビットと0x40の論理和で、0x40～0x4Fまでのコードになります。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを他APIや送信データの最後に実行し、*i_id*で指定した応答コードを返すことで、データ処理の実行終了が外部から確認できます。

4章 .NET API

本章では.NET APIについて説明します。

4.1 開発対象言語

開発対象言語は下記の通りです。

- Visual Basic .NET
- Visual C#

4.2 ライブラリファイル

.NET APIのライブラリファイルはクラスライブラリ形式です。

ライブラリファイルのファイル名は下記の通りです。

- SPSWL_Cls.dll

ライブラリファイルの保管場所は、グローバル・アセンブリ・キャッシュ(GAC)フォルダーです。

4.3 API一覧

.NET APIに実装されているAPIは下記の通りです。

- ネームスペース : SII.SDK.PrinterDevice
- クラス名 : DisplayAPI

4.3.1 共通 API

種別	API	機能概略
プロパティ	LastError	最後に実行したAPIのエラー値を取得します。
プロパティ	IsValid	OpenMonPrinterの呼び出し状態を取得します。
メソッド	OpenMonPrinter	.NET APIの使用を開始します。
メソッド	CloseMonPrinter	使用中の.NET APIを終了します。
メソッド	LockPrinter	他のプロセスからのデバイスへのデータ送信及びハードウェアリセット要求を全て禁止(ロック)します。
メソッド	UnlockPrinter	LockPrinterによる他プロセスからのアクセス禁止(ロック)を解除します。
メソッド	DirectIOEx	バイナリデータを送信及び受信します。

4.3.2 専用 API

種別	API	機能概略
メソッド	ShowTemplate	画面をテンプレート表示にします。
メソッド	ShowSlide	画面をスライド表示にします。
メソッド	TurnOnScreen	画面のバックライトのオン・オフを設定します。
メソッド	EnterStandbyMode	ディスプレイをスタンバイモードにします。
メソッド	ExecuteMacro	登録済みのマクロを実行します。
メソッド	RegisterTemplate	テンプレートを登録します。
メソッド	UnregisterTemplate	登録済みのテンプレートを削除します。
メソッド	SelectTemplate	テンプレートを選択します。
メソッド	SetTemplateImageData	選択中のテンプレートに表示するイメージデータを設定します。
メソッド	SelectTemplateTextObject	編集を開始するtext要素を選択します。
SelectTemplateでテンプレートを選択し、SelectTemplateTextObjectで指定したtext要素に有効なメソッド		
メソッド	SetTemplateTextAlignment	テキストデータに位置揃えを設定します。
メソッド	SetTemplateTextLeftMargin	テキストデータに左マージンを設定します。
メソッド	SetTemplateTextBold	テキストデータに強調文字を設定します。
メソッド	SetTemplateTextUnderline	テキストデータにアンダーラインを設定します。
メソッド	SetTemplateTextSize	テキストデータに文字サイズを設定します。

種別	API	機能概略
メソッド	SetTemplateTextFont	テキストデータに文字フォントを設定します。
メソッド	SetTemplateTextRegisteredFont	テキストデータで使用する登録フォントを設定します。
メソッド	SetCodePage	テキストデータで使用するコードページを設定します。
メソッド	SetInternationalCharacter	テキストデータで使用する国際文字セットを設定します。
メソッド	SetTemplateTextRightSpacing	テキストデータに右スペース量を設定します。
メソッド	SetTemplateTextColor	テキストデータで使用する文字色を設定します。
メソッド	SetTemplateTextLineSpacing	テキストデータに改行量を設定します。
メソッド	SetTemplateTextData ^{※1} SetTemplateTextBData ^{※2}	SelectTemplateTextObject で指定したtext要素に表示するテキストデータを入力します。
メソッド	SetTemplateBarcodeData	選択中のテンプレートのbarcode要素のマッピングIDを指定し、バーコードデータを入力します。
メソッド	SetTemplateQrCodeData	選択中のテンプレートのqr要素のマッピングIDを指定し、QRコードデータを入力します。
メソッド	RegisterImageData	イメージデータを登録します。
メソッド	UnregisterImageData	登録済みのイメージデータを削除します。
メソッド	RegisterSlideData	スライドデータを登録します。
メソッド	UnregisterSlideData	登録済みのスライドデータを削除します。
メソッド	RegisterUserDefinedCharacter	外字を登録します。
メソッド	UnregisterUserDefinedCharacter	登録済みの外字を削除します。
メソッド	RegisterOptionFont	オプションフォントを登録します。
メソッド	UnregisterOptionFont	登録済みのオプションフォントを削除します。
メソッド	ControlMacroRegistration	マクロ登録の開始・終了を指定します。
メソッド	Defragment	メモリ領域を最適化します。
メソッド	GetMemory	メモリ領域の残り容量を取得します。
メソッド	InitializeMemoryArea	メモリ領域を初期化します。
メソッド	GetRegisteredStateList	コンテンツの登録の有無を取得します。
メソッド	GetObjectLabel	登録済みのコンテンツのラベル名を取得します。
メソッド	GetResponseRequest	本APIを実行した時点で、指定した応答コードを取得します。

※1: 引数は文字列で指定します。

※2: 引数はバイナリデータで指定します。

参考

- ディスプレイAPIの利用にあたり、テンプレートの登録はデータをXML形式で指定する必要があります。それらに必要な要素の詳細は「ディスプレイ用技術説明書」を参照する必要があります。また、スライド、テンプレート及びマクロの活用方法、及びディスプレイのステータスにおける状態遷移につきましても、「ディスプレイ用技術説明書」の熟読を推奨します。

4.4 API詳細

4.4.1 共通 API

プロパティ

LastError

最後に呼び出したAPIのエラー値を取得します。

```
ErrorCode LastError { get; }
```

初期値

SUCCESS

備考

- エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

IsValid

OpenMonPrinterの呼び出し状態を取得します。

```
bool IsValid { get; }
```

初期値

FALSE

備考

- TRUE : OpenMonPrinterに成功した状態です。
- FALSE : OpenMonPrinterに成功していない状態です。

メソッド

OpenMonPrinter

.NET APIの使用を開始します。

```
ErrorCode OpenMonPrinter(  
    OpenType type,  
    string name )
```

パラメーター

type

オープンタイプ

OpenType.TYPE_DISPLAY (固定)

プリンター経由で使用、及びディスプレイ単体で使用する場合のどちらも

OpenType.TYPE_DISPLAYを指定してください。

name

.NET APIを使用するデバイス名

デバイス名(フレンドリ名)を指定します。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 1プロセスで.NET APIの各クラス合わせて最大8インスタンスまで同時にオープンできます。
- .NET APIを使用しなくなった場合は、必ず**CloseMonPrinter**を呼び出してください。
- ドライバーは下記の接続先に設定してください。
プリンター経由で使用する場合：
 プリンターのポートを指定してください。
ディスプレイ単体で使い、かつプリンタードライバーを使用する場合：
 USBを指定してください。
- デバイスが未接続、または電源オフ状態でも本APIは成功します。

CloseMonPrinter

使用中の.NET APIを終了します。

ErrorCode **CloseMonPrinter**()

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- APIに関連付けられたすべての設定及びデータは、本APIで破棄されます。

LockPrinter

他のプロセスからのデバイスへのデータ送信及びハードウェアリセット要求を全て禁止(ロック)します。

ErrorCode **LockPrinter**(
int *timeout*)

パラメーター

timeout

タイムアウト時間

本APIの成功を待つ時間を、ミリ秒(ms)で指定します。

有効範囲は3000～90000です。

3000未満の値を指定した場合は3000msに設定されます。

90000よりも大きい値を指定した場合は90000msに設定されます。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIにより、最大99回まで多重のロックが可能です。ロックを解除するためには本APIを呼び出した回数と同じ回数の**UnlockPrinter**を呼び出してください。

UnlockPrinter

LockPrinterによる他プロセスからのアクセス禁止(ロック)を解除します。

ErrorCode **UnlockPrinter**()

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- LockPrinterが多重に呼び出されている場合、ロック解除には同じ回数の本APIの呼び出しが必要です。

DirectIOEx

(a)の構文は、バイナリデータを送信後、受信データをデバイスからバイナリデータとして取得します。

(b)の構文は、バイナリデータを送信後、受信データをデバイスから文字列データとして取得します。

(c)の構文は、バイナリデータを送信します。

(a) ErrorCode **DirectIOEx**(
 byte[] *cmd*,
 ref byte[] *data*,
 int *timeout*,
 bool *readFlag*,
 byte *option*)

(b) ErrorCode **DirectIOEx**(
 byte[] *cmd*,
 out string *data*,
 int *timeout*,
 byte *option*)

(c) ErrorCode **DirectIOEx**(
 byte[] *cmd*,
 int *timeout*)

パラメーター

cmd

送信データバッファー

送信するデータが格納されたバッファーを指定します。

data

受信データバッファ

取得するデータを格納するバッファを指定します。
最大受信データサイズは4096バイトです。
4096よりも大きい値を指定した場合は4096バイトに設定されます。
データ取得が必要ない場合は、0を指定してください。
APIから制御が戻ると受信されたデータサイズが格納されます。

timeout

タイムアウト時間

本APIの成功を待つ時間を、ミリ秒(ms)で指定します。
有効範囲は3000～90000です。
3000未満の値を指定した場合は3000msに設定されます。
90000よりも大きい値を指定した場合は90000msに設定されます。

readFlag

受信動作フラグ

受信動作を指定します。
TRUE : 何らかのデータを受信するか、タイムアウトになるまで受信を続けます。
FALSE : 受信データサイズ分を受信するか、タイムアウトになるまで受信を続けます。

option

受信対象オプション

受信対象のデータを指定します。
プリンター経由で使用する場合：
0 : ASB設定コマンドの応答を除いたデータを取得します。
1 : ASB設定コマンドの応答を含めたデータを取得します。
ディスプレイ単体で使用する、かつプリンタードライバーを使用する場合：
0を指定してください。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- (a)のパラメーターref byte[] *data*は本APIが成功した場合、呼び出し前の指定サイズを限度に、受信データのサイズにリサイズされます。
- (b)の構文で受信データに“0x10, 0x32”の連続したデータが含まれる場合、“0x10, 0x32”は“0x5f, 0x5f”に変換されます。

4.4.2 専用 API

画面の表示

ShowTemplate

画面をテンプレート表示にします。

```
ErrorCode ShowTemplate(  
    int time_ms )
```

パラメーター

time_ms

表示時間

画面に表示する時間を、ミリ秒(ms)で指定します。

有効範囲は0～25500です。

0を超える値、かつ100未満の値を指定した場合は100msに設定されます。

25500を超える値を指定した場合は25500msに設定されます。

ControlMacroRegistrationでマクロ登録されている場合：

*time_ms*に0を指定した場合は、テンプレート表示を続けます。

*time_ms*に0以外を指定した場合は、表示時間経過後は次のテンプレートに移ります。

ControlMacroRegistrationでマクロ登録されていない場合：

*time_ms*に0を指定した場合は、テンプレート表示を続けます。

*time_ms*に0以外を指定した場合は、表示時間経過後は直前のテンプレートに戻ります。

直前に表示時間に0以外を指定して画面更新を行っていた場合は、表示時間に0を指定して画面更新を行ったテンプレートまで戻ります。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイ画面を更新し、下記のAPIで指定されたデータを表示します。
 - **SetTemplateImageData**
 - **SelectTemplateTextObject**
 - **SetTemplateTextAlignment**
 - **SetTemplateTextLeftMargin**
 - **SetTemplateTextBold**
 - **SetTemplateTextUnderline**
 - **SetTemplateTextSize**
 - **SetTemplateTextFont**
 - **SetRegisteredFont**
 - **SetCodePage**
 - **SetInternationalCharacter**

- **SetTemplateTextRightSpacing**
- **SetTemplateTextColor**
- **SetTemplateTextLineSpacing**
- **SetTemplateTextDat**
- **SetTemplateBarcodeData**
- **SetTemplateQrCodeData**

- ・プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

ShowSlide

画面をスライド表示にします。

```
ErrorCode ShowSlide(
    int slideID,
    int time_ms)
```

パラメーター

slideID

スライドID

RegisterSlideDataで登録したスライドデータのスライドIDを指定します。

有効範囲は0～91です。

指定したスライドIDにスライドデータが登録されていない場合は無視されます。

time_ms

表示時間

画面に表示する時間を、ミリ秒(ms)で指定します。

有効範囲は0～25500です。

0を超える値、かつ100未満の値を指定した場合は100msに設定されます。

25500を超える値を指定した場合は25500msに設定されます。

ControlMacroRegistrationでマクロ登録されている場合：

*time_msl*に0を指定した場合は、スライド表示を続けます。

*time_msl*に0以外を指定した場合は、表示時間経過後は次のスライドに移ります。

ControlMacroRegistrationでマクロ登録されていない場合：

*time_msl*に0を指定した場合は、スライド表示を続けます。

*time_msl*に0以外を指定した場合は、表示時間経過後は直前のスライドに戻ります。

直前に表示時間に0以外を指定して画面更新を行っていた場合は、表示時間に0を指定して画面更新を行ったスライドまで戻ります。

備考

- ・本APIを実行すると選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- ・プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

TurnOnScreen

画面のバックライトのオン・オフを設定します。

```
ErrorCode TurnOnScreen(  
    bool turnon )
```

パラメーター

i_turnon

動作フラグ

動作を指定します。

TRUE : 画面のバックライトをオンします。

FALSE : 画面のバックライトをオフします。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

EnterStandbyMode

ディスプレイをスタンバイモードにします。

```
ErrorCode EnterStandbyMode()
```

備考

- 本APIはスタンバイモード中、及びガイドモード中は無視されます。
- 本APIを実行すると選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

ExecuteMacro

登録済みのマクロを実行します。

```
ErrorCode TurnOnScreen(  
    int macroID,  
    int repeatCount)
```

パラメーター

macroID

マクロID

実行するマクロのマクロIDを指定します。

有効範囲は0～127です。

指定したマクロIDにマクロが登録されていない場合は無視されます。

repeatCount

実行回数

マクロの実行回数を指定します。

有効範囲は0～255です。

0を指定した場合は、繰り返しを継続します。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

テンプレート

RegisterTemplate

テンプレートを登録します。

```
ErrorCode RegisterTemplate(  
    int templateID,  
    string label,  
    string fileName)
```

パラメーター

templateID

テンプレートID

登録するテンプレートのテンプレートIDを指定します。

有効範囲は0～127です。

テンプレートID127はシステムで利用していますので、指定しないでください。

label

テンプレート名

テンプレート名を指定します。

指定可能な文字は、英数字('0'～'9'、'A'～'Z'、'a'～'z')などのASCII文字コード0x20(スペース)～0x7E(チルダ)の文字です。

ユニコードの0x00A5('¥')は用いないでください。

指定可能な文字数は0～32文字です。

*label*は省略することも可能です。省略する場合は空の文字列を指定してください。

fileName

ファイルパス

*templateID*で指定したIDに*fileName*で指定したファイルをテンプレートデータとして登録します。

テンプレートデータはXML方式で登録してください。

登録可能な最大データサイズは8192バイトです。

登録するテンプレートデータの詳細については「ディスプレイ用技術説明書」を参照してください。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

注意

工場出荷時に登録されるデータは、品質向上のため予告無く追加・変更される場合があります。

備考

- ・本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- ・プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

UnregisterTemplate

登録済みのテンプレートを削除します。

```
ErrorCode UnregisterTemplate(  
    int templateID )
```

パラメーター

templateID

テンプレートID

削除するテンプレートのテンプレートIDを指定します。

有効範囲は0～127です。

指定したテンプレートIDにテンプレートが登録されていない場合は無視されます。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- テンプレートを削除しても使用済みのメモリは解放されません。使用済みのメモリは、**Defragment**を実行すると再度利用できます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SelectTemplate

テンプレートを選択します。

```
ErrorCode SelectTemplate(  
    int templateID,  
    int slideID )
```

パラメーター

templateID

テンプレートID

選択するテンプレートのテンプレートIDを指定します。

有効範囲は0～127です。

指定したテンプレートIDにテンプレートが登録されていない場合は無視されます。

slideID

スライドID

背景画面として表示するスライドデータのスライドIDを指定します。

有効範囲は-1～91です。

-1を指定した場合、背景画面は表示されません。

指定したスライドIDにスライドデータが登録されていない場合は無視されます。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとテンプレート上のデータはクリアされます。
- 本APIで選択したテンプレートは**ShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIで選択したテンプレートは下記の条件で選択が解除されます。
 - **ShowTemplate** の *time_ms* で表示時間を指定した場合
 - **ShowSlide**、**EnterStandbyMode**、**ExecuteMacro** を実行した場合
 - 本APIを新たに実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SetTemplateImageData

選択中のテンプレートに表示するイメージデータを設定します。

```
ErrorCode SetTemplateImageData(  
    int mapID,  
    int imageID)
```

パラメーター

mapID

マップID

選択中のテンプレートに定義されているimg要素のマップIDを指定してください。
有効範囲は0～63です。
指定したマップIDがテンプレートに定義されていない場合は無視されます。

imageID

イメージID

指定した*mapID*に表示するイメージデータのイメージIDを指定します。
有効範囲は0～63です。
指定したイメージIDにイメージデータが登録されていない場合は無視されます。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **SelectTemplate** を実行した場合
 - **ShowTemplate** の *time_ms* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **ExecuteMacro** に登録されている **ShowTemplate** を実行した場合
- テンプレートが未選択の場合は無視されます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SelectTemplateTextObject

編集を開始するtext要素を選択します。

```
ErrorCode SelectTemplateTextObject(  
    int mapID )
```

パラメーター

mapID

マップID

選択中のテンプレートに定義されているtext要素のマップIDを指定します。
有効範囲は0～63です。
指定したマップIDがテンプレートに定義されていない場合は無視されます。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 選択中のテンプレートのマップIDを本APIで指定してから、文字の編集を開始してください。
- 指定したマップIDのtext要素にスクロールを設定している場合は、**ShowTemplate**の後に本APIを実行するとスクロールを実行します。
指定したマップIDのtext要素にスクロールを設定していない場合は、**ShowTemplate**の後に本APIを実行すると入力済みのテキストデータを破棄します。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **SelectTemplate** を実行した場合
 - **ShowTemplate** を実行した場合
- テンプレートが未選択の場合は無視されます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SetTemplateTextAlignment

テキストデータに位置揃えを設定します。

```
ErrorCode SetTemplateTextAlignment(  
    PrintAlignment alignment )
```

パラメーター

alignment

位置揃え

位置揃えを設定します。
設定可能な内容は、「6.2 位置揃え」を参照してください。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 位置揃えは下記の場合のみ有効です。
 - **SelectTemplateTextObject** で指定したマップ ID にテキストデータが未入力時
 - **SelectTemplateTextObject** で指定したマップ ID に入力したテキストデータが改行直後
- 本APIを実行する前に**SelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**SetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**ShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **SelectTemplate** を実行した場合
 - **ShowTemplate** の *time_ms* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **ExecuteMacro** に登録されている **ShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SetTemplateTextLeftMargin

テキストデータに左マージンを設定します。

```
ErrorCode SetTemplateTextLeftMargin(  
    int margin)
```

パラメーター

margin

左マージン

左マージンを、ピクセル(px)で設定します。
有効範囲は0～479です。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 左マージンの設定は下記の場合のみ有効です。
 - **SelectTemplateTextObject** で指定したマップ ID にテキストデータが未入力時
 - **SelectTemplateTextObject** で指定したマップ ID に入力したテキストデータが改行直後
- 本APIを実行する前に**SelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**SetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**ShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **SelectTemplate** を実行した場合
 - **ShowTemplate** の *time_ms* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **ExecuteMacro** に登録されている **ShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SetTemplateTextBold

テキストデータに強調文字を設定します。

```
ErrorCode SetTemplateTextBold(  
    bool bold)
```

パラメーター

bold

強調文字の指定／解除フラグ

強調文字の指定／解除を設定します。

TRUE : 強調文字を指定します。

FALSE : 強調文字を解除します。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータから強調文字は適用されます。1文字ずつ強調文字の設定ができます。
- 本APIを実行する前に**SelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**SetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**ShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **SelectTemplate**を実行した場合
 - **ShowTemplate**の *time_ms* で0以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **ExecuteMacro**に登録されている **ShowTemplate**を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SetTemplateTextUnderline

テキストデータにアンダーラインを設定します。

```
ErrorCode SetTemplateTextUnderline(  
    bool underline)
```

パラメーター

underline

アンダーラインの指定／解除フラグ

アンダーラインの指定／解除を設定します。

TRUE : アンダーラインを指定します。

FALSE : アンダーラインを解除します。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータからアンダーラインは適用されます。1文字ずつアンダーラインの設定ができます。
- 本APIを実行する前に**SelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**SetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**ShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **SelectTemplate** を実行した場合
 - **ShowTemplate** の *time_ms* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **ExecuteMacro** に登録されている **ShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SetTemplateTextSize

テキストデータに文字サイズを設定します。

```
ErrorCode SetTemplateTextSize(  
    int horizontalScale,  
    int verticalScale)
```

パラメーター

horizontalScale

横方向倍率

横方向の文字サイズを設定します。

設定可能な内容は、「6.3 文字サイズ」を参照してください。

verticalScale

縦方向倍率

縦方向の文字サイズを設定します。

設定可能な内容は、「6.3 文字サイズ」を参照してください。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータから文字サイズは適用されます。1文字ずつ文字サイズの設定ができます。
- 本APIを実行する前に**SelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**SetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**ShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **SelectTemplate** を実行した場合
 - **ShowTemplate** の *time_ms* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **ExecuteMacro** に登録されている **ShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SetTemplateTextFont

テキストデータに文字フォントを設定します。

```
ErrorCode SetTemplateTextFont(  
    CharacterFont font )
```

パラメーター

font

文字フォント

文字フォントを設定します。

設定可能な内容は、「6.4 文字フォント」を参照してください。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータから文字フォントは適用されます。1文字ずつ文字フォントの設定ができます。
- 本APIを実行する前にSelectTemplateTextObjectでマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後にSetTemplateTextDataでテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータはShowTemplateを実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - SelectTemplate を実行した場合
 - ShowTemplate の *time_ms* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - ExecuteMacro に登録されている ShowTemplate を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SetTemplateTextRegisteredFont

テキストデータで使用する登録フォントを設定します。

```
ErrorCode SetTemplateTextRegisteredFont(  
    RegisteredFont font )
```

パラメーター

font

登録フォント

登録フォントを設定します。

設定可能な内容は、「6.5 登録フォント」を参照してください。

オプションフォントが登録されていない場合は無視されます。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータから登録フォントは適用されます。1文字ずつ登録フォントの設定ができます。
- 本APIを実行する前に**SelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**SetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**ShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **SelectTemplate** を実行した場合
 - **ShowTemplate** の *time_ms* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **ExecuteMacro** に登録されている **ShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SetCodePage

テキストデータで使用するコードページを設定します。

```
ErrorCode SetCodePage(  
    CodePage codePage )
```

パラメーター

codePage

コードページ

コードページを設定します。

設定可能な内容は、「6.6 コードページ」を参照してください。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータからコードページは適用されます。1文字ずつコードページの設定ができます。
- 本APIでコードページの設定を行っていない場合は、Windows OSの言語設定により下記のコードページとなります。
 - 言語設定が日本の場合： カタカナ文字セット
 - 言語設定が日本以外の場合： コードページ 1252
- テンプレートのエンコード指定がShift_JISの場合は、0x80～0x9F、及び0xE0～0xFFの文字は表示できません。表示させる場合は、エンコード指定がISO-2022-JPのテンプレートを使用してください。
- 本APIを実行する前に**SelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **SelectTemplate** を実行した場合
 - **ShowTemplate** の *time_ms* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **ExecuteMacro** に登録されている **ShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SetInternationalCharacter

テキストデータで使用する国際文字セットを設定します。

ErrorCode **SetInternationalCharacter**(
InternationalCharacter *internationalCharacter*)

パラメーター

internationalCharacter

国際文字セット

国際文字セットを設定します。

設定可能な内容は、「6.7 国際文字セット」を参照してください。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータから国際文字セットは適用されます。1文字ずつ国際文字セットの設定ができます。
- 本APIを実行する前に**SelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **SelectTemplate** を実行した場合
 - **ShowTemplate** の *time_ms* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **ExecuteMacro** に登録されている **ShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SetTemplateTextRightSpacing

テキストデータに右スペース量を設定します。

ErrorCode **SetTemplateTextRightSpacing**(
int *spacing*)

パラメーター

spacing

文字の右スペース量

右スペース量を、ピクセル(px)で設定します。

有効範囲は0～255です。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータから文字の右スペース量は適用されます。1文字ずつ右スペース量の設定ができます。
- 本APIを実行する前に**SelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**SetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**ShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **SelectTemplate** を実行した場合
 - **ShowTemplate** の *time_ms* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **ExecuteMacro** に登録されている **ShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SetTemplateTextColor

テキストデータで使用する文字色を設定します。

```
ErrorCode SetTemplateTextColor(  
    uint color)
```

パラメーター

color

文字色

文字色を設定します。

設定可能な内容は、「6.8 文字色」を参照してください。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本API実行後のテキストデータから文字色は適用されます。1文字ずつ文字色の設定ができます。
- 本APIを実行する前に**SelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**SetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**ShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **SelectTemplate** を実行した場合
 - **ShowTemplate** の *time_ms* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **ExecuteMacro** に登録されている **ShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SetTemplateTextLineSpacing

テキストデータに改行量を設定します。

```
ErrorCode SetTemplateTextLineSpacing(  
    int spacing)
```

パラメーター

spacing

改行量

改行量を、ピクセル(px)で設定します。
有効範囲は0～255です。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 改行量の設定は下記の場合のみ有効です。
 - **SelectTemplateTextObject** で指定したマップ ID にテキストデータが未入力時
 - **SelectTemplateTextObject** で指定したマップ ID に入力したテキストデータが改行直後
- 指定したマップIDのtext要素にスクロールを設定している場合は、本APIの設定は反映されません。
- 本APIを実行する前に**SelectTemplateTextObject**でマップIDを指定してください。
- 本APIを実行した後に**SetTemplateTextData**でテキストデータを入力してください。
- 入力したテキストデータは**ShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIの設定は下記の条件でクリアされます。
 - **SelectTemplate** を実行した場合
 - **ShowTemplate** の *time_ms* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **ExecuteMacro** に登録されている **ShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SetTemplateTextData

SelectTemplateTextObjectで指定したtext要素に表示するテキストデータを入力します。

(a)の構文は、テキストデータを文字列で入力します。

(b)の構文は、テキストデータをバイナリデータで入力します。

```
(a) ErrorCode SetTemplateTextData(  
    string text)
```

```
(b) ErrorCode SetTemplateTextBData(  
    byte[] data)
```

パラメーター

text (data)

テキストデータ

テキストデータを入力します。

一度に指定可能なデータサイズは1～1020バイトです。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIは指定されたテキストデータを**SetInternationalCharacter**、及び**SetCodePage**の設定を基にディスプレイで表示可能なテキストデータにエンコードしてディスプレイに表示します。エンコードできなかったテキストは、'?'として表示されます。
- 本APIを実行する前に**SelectTemplate**でテンプレートを選択してください。
- 選択中のテンプレートのマップIDを**SelectTemplateTextObject**で指定してから、本APIでテキストデータを入力してください。**SelectTemplateTextObject**でマップIDが指定されていない場合は、無視されます。
- 本APIで入力したテキストデータは**ShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIで入力したテキストデータは下記の条件でクリアされます。
 - **SelectTemplate** を実行した場合
 - **ShowTemplate** の *time_ms* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **ExecuteMacro** に登録されている **ShowTemplate** を実行した場合
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SetTemplateBarcodeData

選択中のテンプレートのbarcode要素のマップIDを指定し、バーコードデータを入力します。

```
ErrorCode SetTemplateBarcodeData(  
    int mapID,  
    byte[] data )
```

パラメーター

mapID

マップID

選択中のテンプレートに定義されているbarcode要素のマップIDを指定してください。
有効範囲は0～7です。

指定したマップIDが選択中のテンプレートに定義されていない場合は無視されます。

data

バーコードデータ

バーコードデータを入力します。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- バーコードデータの指定については、「ディスプレイ用技術説明書」のディスプレイコマンド「バーコードデータの入力」を参照してください。
- 入力したバーコードデータは**ShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIで入力したバーコードデータは下記の条件でクリアされます。
 - **SelectTemplate** を実行した場合
 - **ShowTemplate** の *time_ms* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **ExecuteMacro** に登録されている **ShowTemplate** を実行した場合
- テンプレートが未選択の場合は無視されます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

SetTemplateQrCodeData

選択中のテンプレートのqr要素のマップIDを指定し、QRコードデータを入力します。

```
ErrorCode SetTemplateQrCodeData(  
    int mapID,  
    ModuleSize moduleSize,  
    ErrorCorrection errorCorrection,  
    QrDataMode mode,  
    bool qrQuietZoneFlag,  
    byte[] data)
```

パラメーター

mapID

マップID

選択中のテンプレートに定義されているqr要素のマップIDを指定してください。
有効範囲は0～7です。
指定したマップIDが選択中のテンプレートに定義されていない場合は無視されます。

moduleSize

モジュールサイズ

モジュールサイズを指定します。
指定可能な内容は、「6.9 モジュールサイズ」を参照してください。

errorCorrection

エラー訂正レベル

エラー訂正レベルを指定します。
指定可能な内容は、「6.10 エラー訂正レベル」を参照してください。
*moduleSize*でQR_MODULE_SIZE_0を指定する場合は、本パラメーターは無視されます。

mode

データモード

データモードを指定します。
指定可能な内容は、「6.11 データモード」を参照してください。
*moduleSize*でQR_MODULE_SIZE_0を指定する場合は、本パラメーターは無視されます。

qrQuietZoneFlag

クワイエットゾーンフラグ

クワイエットゾーンのあり／なしを指定します。

TRUE : クワイエットゾーンあり

FALSE : クワイエットゾーンなし

*moduleSize*でQR_MODULE_SIZE_0を指定する場合は、本パラメーターは無視されます。

data

QRコードデータ

QRコードデータを入力します。

有効データ長さは1～3909です。

QRコードデータの入力については、QRコードのデータ入力形式に則したデータを入力してください。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 入力したQRコードデータは**ShowTemplate**を実行すると画面に表示されます。
- 本APIで入力したQRコードデータは下記の条件でクリアされます。
 - **SelectTemplate** を実行した場合
 - **ShowTemplate** の *time_ms* で 0 以外を指定し、指定した表示時間を経過した場合
 - **ExecuteMacro** に登録されている **ShowTemplate** を実行した場合
- テンプレートが未選択の場合は無視されます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

画像登録

RegisterImageData

イメージデータを登録します。

```
ErrorCode RegisterImageData(  
    int imageID,  
    string label,  
    string fileName )
```

パラメーター

imageID

イメージID

登録するイメージデータのイメージIDを指定します。

有効範囲は0～63です。

イメージID49～63はシステムで利用していますので、指定しないでください。

label

ラベル名

ラベル名を指定します。

指定可能な文字は、英数字('0'～'9'、'A'～'Z'、'a'～'z')などのASCII文字コード0x20(スペース)～0x7E(チルダ)の文字です。

ユニコードの0x00A5('¥')は用いないでください。

指定可能な文字数は0～32文字です。

*label*は省略することも可能です。省略する場合は空の文字列を指定してください。

指定したラベル名はGetObjectLabelで取得できます。

fileName

ファイルパス

*imageID*で指定したIDにイメージデータを登録します。

決められた形式で作成されたイメージデータのファイル名を指定します。

サポートするファイルの拡張子は.jpg、.jpeg、及び.pngです。ただし、サポートする拡張子であっても、フォーマットによっては登録できない場合があります。

指定可能な最大ファイルサイズは786432バイトです。

登録できる最大データサイズは横480×縦272ピクセル(px)です。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

注意

工場出荷時に登録されるデータは、品質向上のため予告無く追加・変更される場合があります。

備考

- ・本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- ・プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

UnregisterImageData

登録済みのイメージデータを削除します。

```
ErrorCode UnregisterImageData(  
    int imageID )
```

パラメーター

imageID

イメージID

削除するイメージデータのイメージIDを指定します。

有効範囲は0～63です。

指定したイメージIDにイメージデータが登録されていない場合は無視されます。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- イメージデータを削除しても使用済みのメモリは解放されません。使用済みのメモリは、**Defragment**を実行すると再度利用できます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

RegisterSlideData

スライドデータを登録します。

```
ErrorCode RegisterSlideData(  
    int slideID,  
    string label,  
    string fileName )
```

パラメーター

slideID

スライドID

登録するスライドデータのスライドIDを指定します。
有効範囲は0～91です。
スライドID80～90はシステムで利用していますので、指定しないでください。

label

ラベル名

ラベル名を指定します。
指定可能な文字は、英数字('0'～'9'、'A'～'Z'、'a'～'z')などのASCII文字コード
0x20(スペース)～0x7E(チルダ)の文字です。
ユニコードの0x00A5('¥')は用いないでください。
指定可能な文字数は0～32文字です。
*label*は省略することも可能です。省略する場合は空の文字列を指定してください。
指定したラベル名はGetObjectLabelで取得できます。

fileName

ファイルパス

*slideID*で指定したIDにスライドデータを登録します。
決められた形式で作成されたスライドデータのファイル名を指定します。
サポートするファイルの拡張子は.jpg、.jpeg、及び.pngです。ただし、サポートする拡張子
であっても、フォーマットによっては登録できない場合があります。
指定可能な最大ファイルサイズは786432バイトです。
データサイズは横480×縦272ピクセル(px)固定です。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

注意

工場出荷時に登録されるデータは、品質向上のため予告無く追加・変更される場合があります。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- 登録したスライドデータを表示する場合はShowSlideを実行してください。
- 登録したスライドデータをテンプレートの背景として使用する場合はSelectTemplateでスライドIDを指定してください。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

UnregisterSlideData

登録済みのスライドデータを削除します。

```
ErrorCode UnregisterSlideData(  
    int slideID )
```

パラメーター

slideID

スライドID

削除するスライドデータのスライドIDを指定します。

有効範囲は0～91です。

指定したスライドIDにスライドデータが登録されていない場合は無視されます。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

文字登録

RegisterUserDefinedCharacter

外字を登録します。

```
ErrorCode RegisterUserDefinedCharacter(  
    string fileName )
```

パラメーター

fileName

ファイルパス

決められた形式で作成された外字データのファイル名を指定します。

サポートするファイルの拡張子は.binです。

外字データについては、「ディスプレイ用技術説明書」のディスプレイコマンド「外字の登録」を参照してください。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- 外字が登録済みの状態で本APIを実行した場合は、外字は上書きされます。
- 外字の表示にはエンコード指定がShift_JISのテンプレートを使用してください。
- 外字を表示する前に**SetCodePage**の *codePage* にCODE_PAGE_KATAKANAを指定してください。
- 外字を表示する際は**SetTemplateTextData**の *text*、または**SetTemplateTextBData**の *data* に指定可能な文字コードを指定してください。
指定可能な文字コードは下記の通りです。
 - 文字列の場合 : 0xE000～0xE05D
 - バイナリデータの場合 : 0xEC40～0xEC7E、及び 0xEC80～0xEC9E
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

UnregisterUserDefinedCharacter

登録済みの外字を削除します。

ErrorCode **UnregisterUserDefinedCharacter**()

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- 登録済みの外字は全て削除されます。
- 外字を削除しても使用済みのメモリは解放されません。使用済みのメモリは、**Defragment**を実行すると再度利用できます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

RegisterOptionFont

オプションフォントを登録します。

```
ErrorCode RegisterOptionFont(  
    int startcode,  
    int endcode,  
    int width,  
    int height,  
    string fileName )
```

パラメーター

startcode

登録開始文字コード

登録を開始する文字コードを指定します。
有効範囲はASCIIコードで0x20～0xFFです。

endcode

登録終了文字コード

登録を終了する文字コードを指定します。
有効範囲はASCIIコードで0x20～0xFFです。

width

文字幅

文字幅を、ピクセル(px)で指定します。

height

文字高さ

文字高さを、ピクセル(px)で指定します。

fileName

ファイルパス

決められた形式で作成されたオプションフォントデータのファイル名を指定します。

サポートするファイルの拡張子は.binです。

オプションフォントデータについては、「ディスプレイ用技術説明書」のディスプレイコマンド「オプションフォントの登録」を参照してください。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- オプションフォントが登録済みの状態で本APIを実行した場合は、登録済みのオプションフォントは削除され、新たにメモリ領域を確保してオプションフォントを登録します。
登録済みのオプションフォントが削除されても使用済みのメモリは解放されません。使用済みのメモリは、**Defragment**を実行すると再度利用できます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

UnregisterOptionFont

登録済みのオプションフォントを削除します。

ErrorCode **UnregisterOptionFont()**

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- 登録済みのオプションフォントは全て削除されます。
- オプションフォントを削除しても使用済みのメモリは解放されません。使用済みのメモリは、**Defragment**を実行すると再度利用できます。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

マクロ

ControlMacroRegistration

マクロ登録の開始・終了を指定します。

```
ErrorCode ControlMacroRegistration(  
    int macroID,  
    MacroRegistrationFunction control)
```

パラメーター

macroID

マクロID

登録するマクロのマクロIDを指定します。

有効範囲は-1～127です。

マクロID120～126はシステムで利用していますので、指定しないでください。

マクロID	内容
120	Bluetoothペアリング中
121	カッターエラー
122	Vp電圧エラー
123	ヘッド温度エラー
124	ハードウェアエラー
125	カバーオープンエラー
126	紙無しエラー
127	スタンバイ(初期値)

control

マクロ処理選択

マクロ処理を選択します。

指定可能な内容は、「6.12 マクロ処理選択」を参照してください。

マクロ処理選択の手順は下記の通りです。

マクロ登録を開始：

*control*にControlStartを指定するとマクロ登録を開始します。

*macroID*に-1を指定してください。

登録開始後、登録対象のAPIとそのデータはSDK内部のメモリにバッファリングされます。

マクロ登録できる最大データサイズは1024バイトです。

登録対象以外のAPIとそのデータは、登録されずに即実行されます。

登録対象のAPIを下記に示します。

- **SelectTemplate**
- **SetTemplateImageData**
- **SelectTemplateTextObject**
- **SetTemplateTextDat**
- **SetTemplateTextAlignment**
- **SetTemplateTextLeftMargin**
- **SetTemplateTextBold**
- **SetTemplateTextUnderline**
- **SetTemplateTextSize**
- **SetTemplateTextFont**
- **SetRegisteredFont**
- **SetCodePage**
- **SetInternationalCharacter**
- **SetTemplateTextRightSpacing**
- **SetTemplateTextColor**
- **SetTemplateTextLineSpacing**
- **SetTemplateBarcodeData**
- **SetTemplateQrCodeData**
- **ShowTemplate**
- **ShowSlide**

マクロを登録して終了:

*control*にControlRegistを指定すると、指定したマクロIDにマクロを登録し、本APIを終了します。

*macroID*に登録するマクロIDを指定してください。

マクロ登録を登録して終了すると画面はスタンバイモードになります。

選択中のテンプレートは選択が解除されます。

マクロを登録しないで終了:

*control*にControlCancelを指定すると、バッファリングしていた登録対象のAPIとそのデータを破棄し本APIを終了します。選択中のテンプレートは選択が解除されます。

登録済みのマクロを削除する:

*control*にControlStartを指定し、*macroID*に-1を指定して本APIを呼び出してください。

*control*にControlRegistを指定し、*macroID*に削除するマクロIDを指定して本APIを呼び出してください。

本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。

登録したマクロはExecuteMacroで実行できます。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

注意

工場出荷時に登録されるデータは、品質向上のため予告無く追加・変更される場合があります。

備考

- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

メモリ操作

Defragment

メモリ領域を最適化します。

```
ErrorCode Defragment(  
    MemoryArea area )
```

パラメーター

area

メモリ領域

メモリ領域を指定します。

指定可能な内容は、「6.13 メモリ領域」を参照してください。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- 最適化中にデバイスの電源をオフにしないでください。
- 最適化には数分かかることがあります。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

GetMemory

メモリ領域の残り容量を取得します。

```
ErrorCode GetMemory(  
    MemoryArea area,  
    out uint size )
```

パラメーター

area

メモリ領域

メモリ領域を指定します。

指定可能な内容は、「6.13 メモリ領域」を参照してください。

size

受信データバッファー

取得するデータを格納するバッファーを指定します。

APIから制御が戻ると受信されたデータサイズが格納されます。

戻り値

成功 : 解放されている領域を除いた、利用可能な残り容量を返します。

失敗 : エラーコードを返します。

エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

InitializeMemoryArea

メモリ領域を初期化します。

```
ErrorCode InitializeMemoryArea (  
    MemoryArea area )
```

パラメーター

area

メモリ領域

メモリ領域を指定します。

指定可能な内容は、「6.13 メモリ領域」を参照してください。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

注意

arealにMEMORY_DISPLAY_USERMEMORYを指定して初期化すると、下記のAPIで登録したデータは削除されます。

- ・RegisterTemplate
- ・RegisterImageData
- ・ControlMacroRegistration
- ・RegisterUserDefinedCharacter
- ・RegisterOptionFont

工場出荷時に登録されるシステムで利用する一部のデータも削除されます。

それにより、ディスプレイをプリンター経由で使用する場合は、プリンターでエラーなどが発生した際にガイド画面が表示できなくなります。

ディスプレイ単体で使用する場合は、ガイド画面はありません。

使用済みのメモリ領域を再度利用する場合は、Defragmentをご利用ください。

備考

- 本APIを実行するとディスプレイはスタンバイモードになります。選択中のテンプレートは選択が解除されます。
- ユーザ領域を初期化すると、登録済みのテンプレート、イメージデータ、外字、オプションフォント、及びマクロ機能はすべてクリアされ、初期状態になります。
- 初期化中にデバイスの電源をオフにしないでください。
- 初期化には数分かかることがあります。
- プリンター経由で使用する場合、プリンターにディスプレイが未接続の場合は無視されます。

応答機能

GetRegisteredStateList

コンテンツの登録の有無を取得します。

```
ErrorCode GetRegisteredStateList(  
    ObjectType type,  
    out RegisteredState[] data)
```

パラメーター

type

コンテンツタイプ

応答を取得するコンテンツタイプを指定します。
指定可能な内容は、「6.1 コンテンツタイプ」を参照してください。

data

受信データバッファー

コンテンツの登録の有無を格納するバッファーを指定します。
*type*で指定したコンテンツタイプの登録状態が、IDの0番から順番にバッファーに格納されます。
データが登録済みの場合はSTATE_REGISTERED、登録されていない場合はSTATE_UNREGISTEREDが格納されます。
格納するバッファーのサイズはコンテンツタイプにより異なります。

コンテンツタイプ	格納するバッファーのサイズ
テンプレート	128
スライド	24
イメージ	64

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

GetObjectLabel

登録済みのコンテンツの名前を取得します。

```
ErrorCode GetObjectLabel(  
    ObjectType type,  
    int objectID,  
    out string data )
```

パラメーター

type

コンテンツタイプ

応答を取得するコンテンツタイプを指定します。

指定可能な内容は、「6.1 コンテンツタイプ」を参照してください。

objectID

コンテンツのID

テンプレートの場合：

RegisterTemplateで登録したテンプレートの *templateID* を指定してください。

スライドの場合：

RegisterSlideDataで登録したスライドデータの *slideID* を指定してください。

イメージの場合：

RegisterImageDataで登録したイメージデータの *imageID* を指定してください。

data

受信データバッファー

取得するデータを格納するバッファーを指定します。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

GetResponseRequest

本APIを実行した時点で、指定した応答コードを取得します。

```
ErrorCode GetResponseRequest(  
    int id,  
    int timeout )
```

パラメーター

id

応答コード

本APIの実行で返す応答コードを指定します。

有効範囲は0～255です。

ただし、上位4ビットは無視されます。

timeout

タイムアウト時間

本APIの成功を待つ時間を、ミリ秒(ms)で指定します。

有効範囲は3000～90000です。

3000未満の値を指定した場合は3000msに設定されます。

90000よりも大きい値を指定した場合は90000msに設定されます。

戻り値

エラーコードを返します。エラーコードの内容は、「5章 エラーコード一覧」を参照してください。

備考

- 本APIを他APIや送信データの最後に実行し、*id*で指定した応答コードを返することで、データ処理の実行終了が外部から確認できます。

5章 エラーコード一覧

本章ではエラーコードについて記載します。

5.1 エラーコード一覧

主なエラーコードは下記の通りです。

マクロ定義(定数)	値	内容
SUCCESS	0	正常
ERR_TYPE	-10	オープンタイプのパラメーターエラーです。
ERR_OPENED	-20	指定したプリンターはすでにオープン済みです。
ERR_NO_PRINTER	-30	指定したプリンタードライバがありません。
ERR_HANDLE	-60	APIハンドルの値が不正です。
ERR_TIMEOUT	-70	タイムアウト、またはビジー状態です。
ERR_ACCESS	-80	ネットワーク上で到達できない、もしくはアクセス中にサービスが停止されるなどの理由でプリンターにアクセスできません。
ERR_PARAM	-90	パラメーターが不正です。
ERR_NOT_SUPPORT	-100	サポートしていない機能です。
ERR_OFFLINE	-110	切断状態、またはプリンターがオフラインです。
ERR_NON_TARGETTED_DRIVER	-120	指定したプリンタードライバは対象外です。
ERR_DISK_FULL	-170	プリンターがビジー状態です。
ERR_ENTRY_OVER	-190	処理の最大使用数を超えています。
ERR_EXIST	-210	すでに存在するモジュールを呼び出しています。
ERR_NOT_FOUND	-220	ファイルが見つかりません。または登録されていません。
ERR_WORKAREA_NO_MEMORY	-260	メモリの領域指定が不足しています。
ERR_WORKAREA_FAILED	-280	メモリの確保ができません。

マクロ定義(定数)	値	内容
ERR_EXEC_FUNCTION	-310	別のスレッド、またはプロセスで使用中のため、その機能は使用できません。
ERR_SPL_NOT_EXIST	-350	スプーラーサービス、またはSII Printer Software サービスが起動していません。
ERR_LOCKED	-1000	プリンターがロックされています。
ERR_UNLOCKED	-1010	プリンターがロックされていないのに、UnlockPrinterが実行されました。
ERR_INVALID_DATA	-1020	不正なデータが指定されています。
ERR_READ_FAULT	-1030	プリンターからの応答がありません。
ERR_WRITE_FAULT	-1040	プリンターにデータを送信できません。
ERR_CANCELLED	-1050	機能が取り消されました。
ERR_UNKNOWN_PORT	-1070	対象外のポートです。
ERR_INVALID_PRINTER_STATE	-1080	プリンターステータスが正常ではありません。
ERR_BAD_ENVIRONMENT	-1090	プリンタードライバーのインストールが正常に行われていない可能性があります。

6章 引数情報

本章では引数について記載します。

6.1 コンテンツタイプ

コンテンツタイプと、その内容は下記の通りです。

コンテンツタイプ		内容
.NET API	Win32 API	DispGetObjectLabel GetObjectLabel DispGetRegisteredStateList GetRegisteredStateList
TYPE_TEMPLATE	1	テンプレート
TYPE_SLIDE	2	スライド
TYPE_IMAGE	3	イメージ

6.2 位置揃え

位置揃えと、その内容は下記の通りです。

位置揃え		内容
.NET API	Win32 API	
ALIGNMENT_LEFT	0	左揃え
ALIGNMENT_CENTER	1	中央揃え
ALIGNMENT_RIGHT	2	右揃え

6.3 文字サイズ

文字サイズと、その内容は下記の通りです。

文字サイズ		内容
.NET API	Win32 API	
1		横方向倍率 : 1倍
2		横方向倍率 : 2倍
3		横方向倍率 : 3倍
4		横方向倍率 : 4倍
1		縦方向倍率 : 1倍
2		縦方向倍率 : 2倍
3		縦方向倍率 : 3倍
4		縦方向倍率 : 4倍

6.4 文字フォント

文字フォントと、その内容は下記の通りです。

文字フォント		内容	
.NET API	Win32 API	DispSetTemplateTextFont SetTemplateTextFont	DispRegisterUserDefinedCharacter RegisterUserDefinedCharacter
FONT_A	0	フォントA(24×12)	フォントA(24×24)
FONT_B	1	フォントB(16×8)	フォントB(16×16)

6.5 登録フォント

登録フォントと、その内容は下記の通りです。

登録フォント		内容
.NET API	Win32 API	
FONT_STANDARD	0	標準フォント
FONT_OPTION	1	オプションフォント

6.6 コードページ

コードページと、その内容は下記の通りです。

コードページ		内容
.NET API	Win32 API	
CODE_PAGE_437	0	USA, Standard Europe (Code Page437)
CODE_PAGE_KATAKANA	1	Katakana
CODE_PAGE_850	2	Multilingual (Code Page850)

コードページ		内容
.NET API	Win32 API	
CODE_PAGE_860	3	Portuguese (Code Page 860)
CODE_PAGE_863	4	Canadian-French (Code Page 863)
CODE_PAGE_865	5	Nordic (Code Page 865)
CODE_PAGE_857	13	Turkish (Code Page 857)
CODE_PAGE_737	14	Greek (Code Page 737)
CODE_PAGE_1252	16	Latin (Code Page 1252)
CODE_PAGE_866	17	Russian (Code Page 866)
CODE_PAGE_852	18	Eastern Europe (Code Page 852)
CODE_PAGE_858	19	Euro (Code Page 858)
CODE_PAGE_855	34	Cyrillic (Code Page 855)
CODE_PAGE_864	37	Arabic (Code Page 864) *1*2
CODE_PAGE_1250	45	Central European (Code Page 1250)
CODE_PAGE_1251	46	Cyrillic (Code Page 1251)
CODE_PAGE_1253	47	Greek (Code Page 1253)
CODE_PAGE_1254	48	Turkish (Code Page 1254)

*1: ユーロ記号は表示できません。

*2: フォント B は表示できません。

6.7 国際文字セット

国際文字セットと、その内容は下記の通りです。

国際文字セット		内容
.NET API	Win32 API	
COUNTRY_USA	0	アメリカ (USA)
COUNTRY_FRANCE	1	フランス (France)
COUNTRY_GERMANY	2	ドイツ (Germany)
COUNTRY_ENGLAND	3	イギリス (United Kingdom)
COUNTRY_DENMARK_1	4	デンマーク I (Denmark I)
COUNTRY_SWEDEN	5	スウェーデン (Sweden)
COUNTRY_ITALY	6	イタリア (Italy)
COUNTRY_SPAIN	7	スペイン I (Spain I)
COUNTRY_JAPAN	8	日本 (Japan)
COUNTRY_NORWAY	9	ノルウェー (Norway)
COUNTRY_DENMARK_2	10	デンマーク II (Denmark II)
COUNTRY_SPAIN_2	11	スペイン II (Spain II)
COUNTRY_LATIN_AMERICA	12	ラテンアメリカ (Latin America)
COUNTRY_ARABIA	17	アラビア (Arabia)

6.8 文字色

文字色と、その内容は下記の通りです。

文字色		内容
.NET API	Win32 API	
0x000000		黒色
0x0000FF		青色
0x00FF00		緑色
0x00FFFF		シアン
0xFF0000		赤色
0xFF00FF		マゼンタ
0xFFFF00		黄色
0xFFFFFFFF		白色
任意		任意の色が設定できます。RGB24ビット表記で入力してください。ただし、RGB各色の下位3ビットは無視されます。

6.9 モジュールサイズ

モジュールサイズと、その内容は下記の通りです。

モジュールサイズ		内容
.NET API	Win32 API	
QR_MODULE_SIZE_0	0	モジュールサイズ: テンプレートの値を適用
QR_MODULE_SIZE_2	2	モジュールサイズ: 2
QR_MODULE_SIZE_3	3	モジュールサイズ: 3
QR_MODULE_SIZE_4	4	モジュールサイズ: 4
QR_MODULE_SIZE_5	5	モジュールサイズ: 5
QR_MODULE_SIZE_6	6	モジュールサイズ: 6
QR_MODULE_SIZE_7	7	モジュールサイズ: 7
QR_MODULE_SIZE_8	8	モジュールサイズ: 8
QR_MODULE_SIZE_9	9	モジュールサイズ: 9
QR_MODULE_SIZE_10	10	モジュールサイズ: 10
QR_MODULE_SIZE_11	11	モジュールサイズ: 11

6.10 エラー訂正レベル

エラー訂正レベルと、その内容は下記の通りです。

エラー訂正レベル		内容
.NET API	.NET API Win32 API	
QR_ERROR_CORRECTION_L	76	エラー訂正レベル:'L' (0x4C)
QR_ERROR_CORRECTION_M	77	エラー訂正レベル:'M' (0x4D)
QR_ERROR_CORRECTION_Q	81	エラー訂正レベル:'Q' (0x51)
QR_ERROR_CORRECTION_H	72	エラー訂正レベル:'H' (0x48)

6.11 データモード

データモードと、その内容は下記の通りです。

データモード		内容
.NET API	.NET API Win32 API	
QRDATAMODE_NUMERIC	78	データモード:'N' (0x4E)
QRDATAMODE_ALPHANUMERIC	65	データモード:'A' (0x41)
QRDATAMODE_8BITBYTE	66	データモード:'B' (0x42)
QRDATAMODE_KANJI	75	データモード:'K' (0x4B)
QRDATAMODE_MIXTURE	77	データモード:'M' (0x4D)

6.12 マクロ処理選択

マクロ処理と、その内容は下記の通りです。

マクロ処理		内容
.NET API	Win32 API	
MACRO_REGISTRATION_START	0	マクロの登録を開始
MACRO_REGISTRATION_REGIST	1	マクロを登録して終了
MACRO_REGISTRATION_CLEAR	2	マクロを登録しないで終了

6.13 メモリ領域

メモリ領域と、その内容は下記の通りです。

メモリ領域		内容
.NET API	Win32 API	
MEMORY_DISPLAY_USERMEMORY	1	ユーザ領域